



利府町 スポーツ 推進計画

2024-2033

令和6年3月
宮城県利府町教育委員会

目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 スポーツの捉え方	2
3 計画の位置づけ	2
4 持続可能な開発目標（SDGs）との関係	3
5 計画の期間	4
6 計画の推進体制	4
第2章 利府町の現状と課題	5
1 利府町を取り巻く状況	5
2 町民へのアンケート調査結果からみる現状	15
3 関係団体へのアンケート調査結果からみる現状	25
4 本町スポーツ振興における課題	29
第3章 本町スポーツの目指す姿	31
1 目指す姿	31
2 計画の目標	31
3 施策の全体体系	32
第4章 施策の展開	33
目標Ⅰ 誰もが楽しめる運動・スポーツの推進	33
目標Ⅱ スポーツ推進を支える環境の整備・充実	36
目標Ⅲ 新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出	39
目標Ⅳ スポーツによる地域活性化・まちづくり	42
資料編	45
1 数値目標	45
2 計画の進捗管理	46
3 策定体制	47

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本町は、令和3(2021)年3月に策定した利府町総合計画において「もっと先へ、チャレンジ利府！～みんなの夢がかなうまち～」をスローガンに、町民の皆様が将来にわたって幸せを実感し続けることができる「持続可能なまち」への発展を目指しています。

この総合計画に基づき、令和5(2023)年3月に策定した第2期利府町教育振興基本計画では、町民の皆様が生き生きと学び、生涯にわたり心豊かに健康で充実した生活を送ることができる地域社会の形成を目標に掲げています。

しかしながら、近年は人口減少・少子高齢化が激化し多くの自治体の存続が危ぶまれる中、また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症や大規模災害の発生等によって、新しい暮らし方や働き方への対応とともに、ICTの進展など社会全体の大きな変革にも対応しながら、地方創生や共生社会の実現を進めて行かなければなりません。

人口減少や少子高齢化の問題や、新型コロナウイルス感染症の拡大等はスポーツ分野においても重大な影響を受けておりますが、苦境に立たされ苦難を乗り越えようとするときに、スポーツは私たちに必ず勇気と希望を与えてくれます。さらに、何度も立ち上がり前に進む大切さを教えてくれるのもスポーツの力であると捉えております。

こうした背景を踏まえ、見る人に夢と感動を与えてくれるスポーツ、私たちの生活の中で心豊かにしてくれるスポーツ、お互いに尊重しあい助け合いながら前に向かって歩むためのスポーツなど、生涯学習を推進し、利府町ならではのスポーツ振興の取組みを推進する方針を示すため「利府町スポーツ推進計画」を策定します。

本計画の策定により、スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」が総合してスポーツ文化[※]を育むとともに、前例にとらわれず将来を見据え、チャレンジ精神をもって新たなスポーツ文化の創造に邁進してまいります。

※スポーツ文化とは、「様々なスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合うことによって、生活の質の向上が図られ、健全で豊かなライフスタイルを育むこと」としています。

(文部科学省が令和4(2022)年3月に策定した第3期スポーツ基本計画に記載された「スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な参画を通じて、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ文化」の確立を目指して、様々なスポーツ施策が展開されてきた」ことを踏まえたもの)

2 スポーツの捉え方

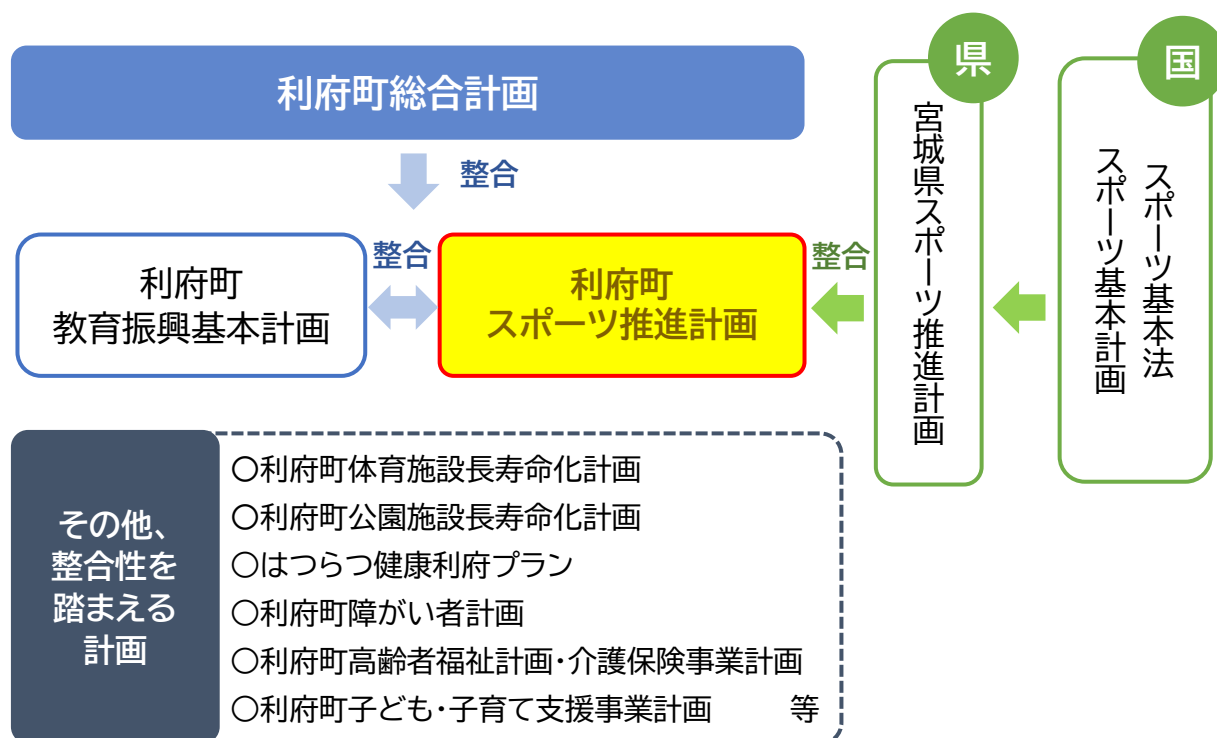
スポーツ基本法において、スポーツは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」とされています。

この考え方を踏まえ、本計画ではスポーツを幅広く捉え、競技としてのスポーツだけではなく、楽しむためのレクリエーション活動やウォーキングなどの健康づくりや体力づくりを目的とした軽く体を動かすような活動についても対象とします。

スポーツを「する」ことだけではなく、スポーツ観戦などのスポーツを「みる」こと、スポーツ指導やボランティア活動などのスポーツを「ささえる」ことなども含みます。

3 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法第10条第1項」に基づく計画として、本町のスポーツ推進に取り組む基本的方向を示すものであり、利府町総合計画を上位計画と位置づけ、国のスポーツ基本計画や宮城県県のスポーツ推進計画、利府町教育振興基本計画等との整合性を踏まえた計画と位置づけています。



4 持続可能な開発目標（SDGs）との関係

SDGsは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「国際社会における令和12(2030)年までの持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

本計画においても、このSDGsの特徴や内容を反映し、持続性を追求したスポーツの推進に取り組みます。



1.貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



2.飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



3.すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



4.質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



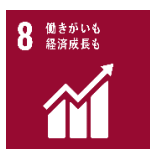
5.ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



6.安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



8.働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する



9.産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



10.人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する



11.住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



12.つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する



13.気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



14.海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



15.陸の豊かさも守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



16.平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



17.パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手順を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

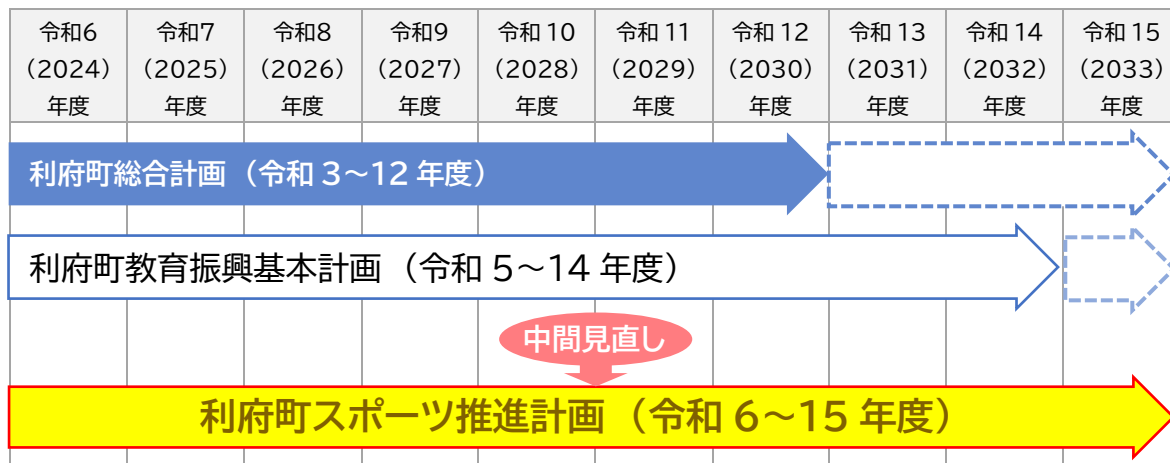
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

各施策で対応するSDGsの目標を掲載しています。

5 計画の期間

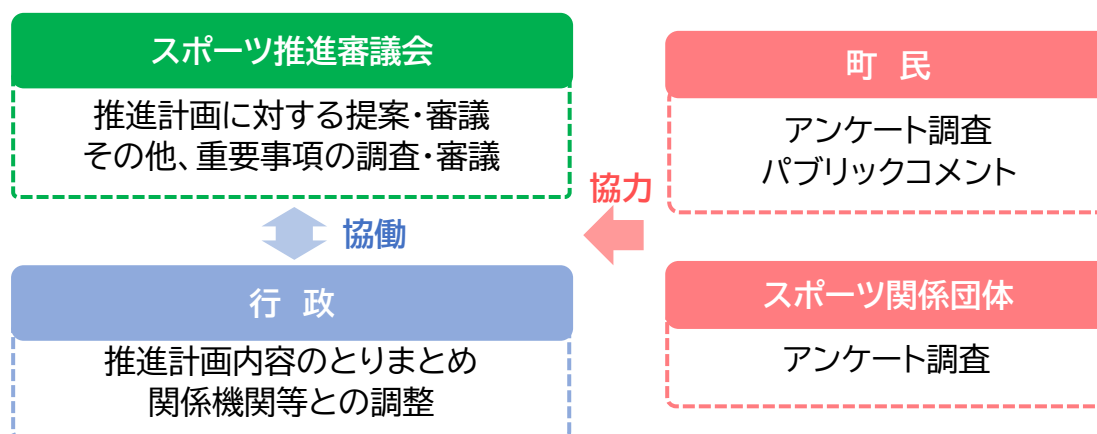
本計画の計画期間は、令和6(2024)年度から令和15(2033)年度までの10年間とします。

なお、計画策定から5年後(令和10(2028)年度)に中間見直しを行うほか、国や県の計画の変更や社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて計画の見直しを行います。



6 計画の推進体制

本計画は、町民の皆様やスポーツ関係団体の皆様にアンケート調査へご協力いただき、そのご意見を参考にしながら、行政が関係機関等と調整し計画内容を取りまとめ、スポーツ推進審議会からの提案や審議を行っていただくなど、相互の協働体制により計画を推進してまいります。



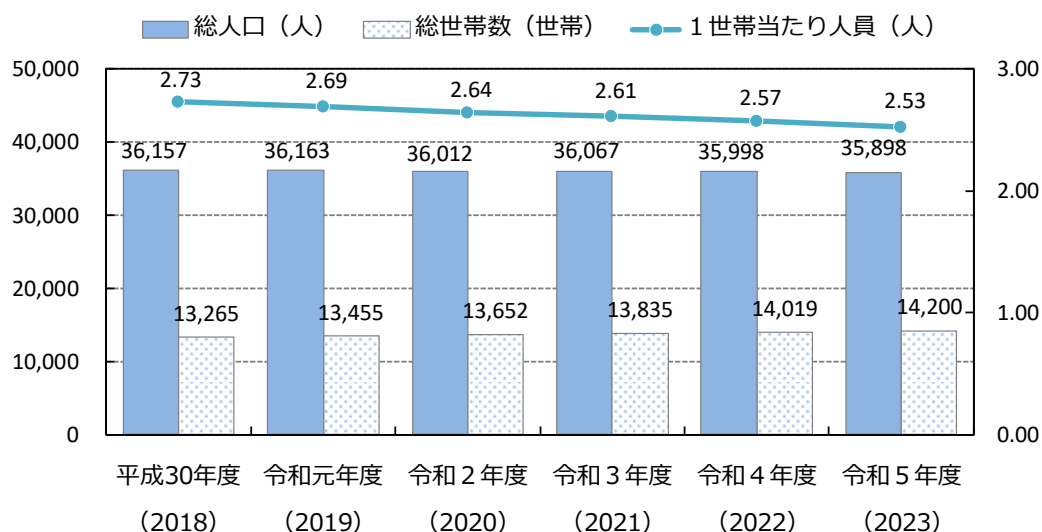
第2章 利府町の現状と課題

1 利府町を取り巻く状況

1 人口・世帯

本町の総人口は、令和5(2023)年度で35,898人と平成30(2018)年度から減少している一方、総世帯数は14,200世帯と増加しており、1世帯当たり2.53人となっています。人口構成をみると、0～64歳が減少している一方、65歳以上は増加しており、核家族化と少子高齢化の進行が見受けられます。

人口・世帯の推移



■年齢3区分別人口と総人口に占める割合

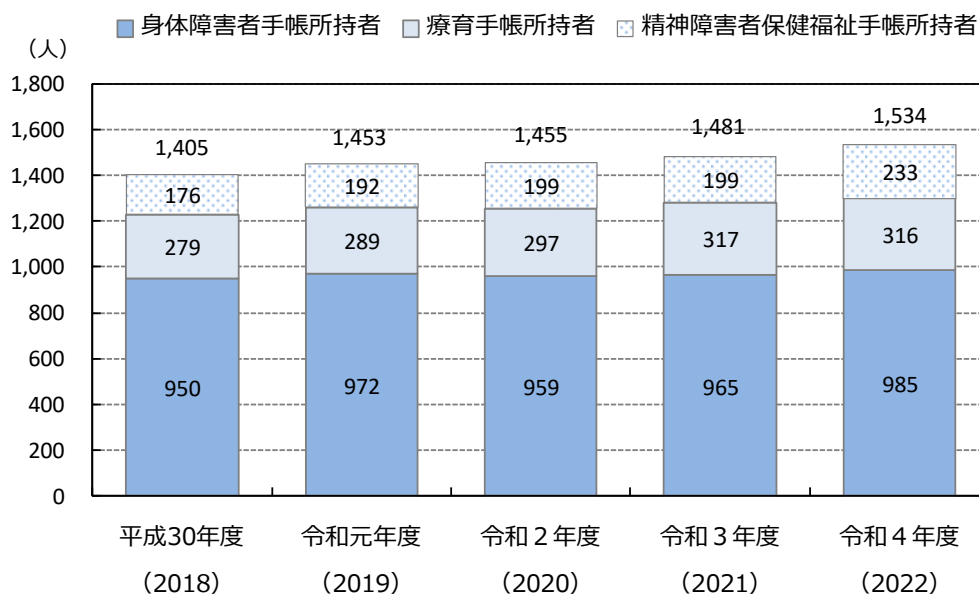
年齢構成	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
0～14歳(人)	5,372	5,300	5,166	5,123	5,007	4,891
割合(%)	14.9	14.7	14.3	14.2	13.9	13.6
15～64歳(人)	22,830	22,626	22,292	22,126	21,956	21,765
割合(%)	63.1	62.6	61.9	61.3	61.0	60.6
65歳以上(人)	7,955	8,237	8,554	8,818	9,035	9,242
割合(%)	22.0	22.8	23.8	24.4	25.1	25.7
合計(人)	36,157	36,163	36,012	36,067	35,998	35,898

出典：利府町住民基本台帳(各年10月1日現在)

2 障害者手帳の所持者数

本町における障害者手帳の所持者数をみると、平成30(2018)年度から129人増加し、令和4(2022)年度では1,534人になっています。うち、身体障害者手帳所持者が最も多く、全体の64.2%を占めております。また、増加数は、精神障害者保健福祉手帳の所持者が57人増で最も多くなっています。

障害者手帳の交付の推移



■手帳種別所持者数と手帳所持者全体に占める割合

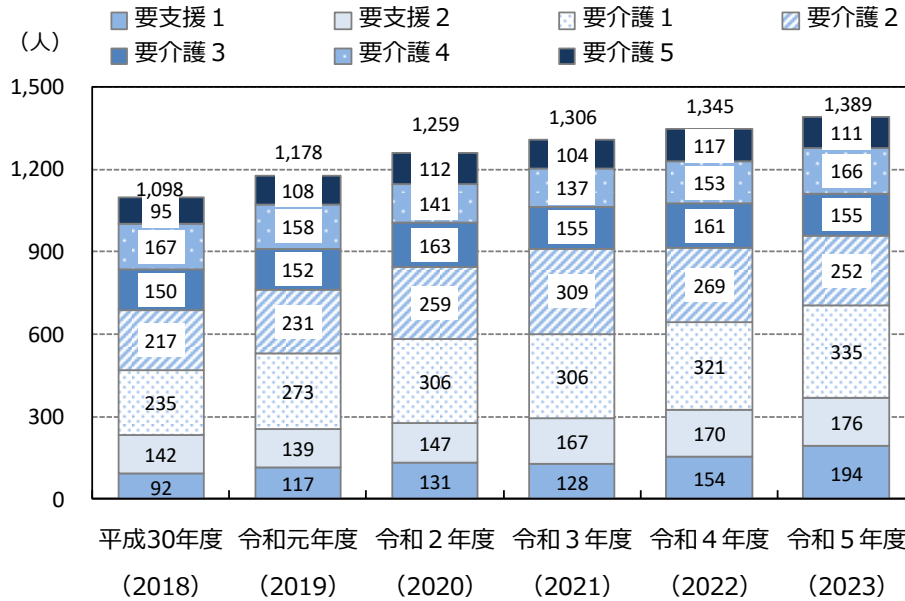
所持手帳別構成	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
身体障害者手帳(人)	950	972	959	965	985
割合(%)	67.6	66.9	65.9	65.2	64.2
療育手帳(人)	279	289	297	317	316
割合(%)	19.9	19.9	20.4	21.4	20.6
精神障害者保健福祉手帳(人)	176	192	199	199	233
割合(%)	12.5	13.2	13.7	13.4	15.2
合計(人)	1,405	1,453	1,455	1,481	1,534

出典:福祉行政報告例(各年度末現在)

3 要支援・要介護者の状況

本町における要支援・要介護認定者の推移をみると、令和5(2023)年度では認定者数1,389人と、平成30(2018)年度から291人増加しています。

要支援・要介護認定者の推移



出典:介護保険事業状況報告(各年9月30日現在)

■年齢階層別要支援・要介護認定者数と認定者全体に占める割合

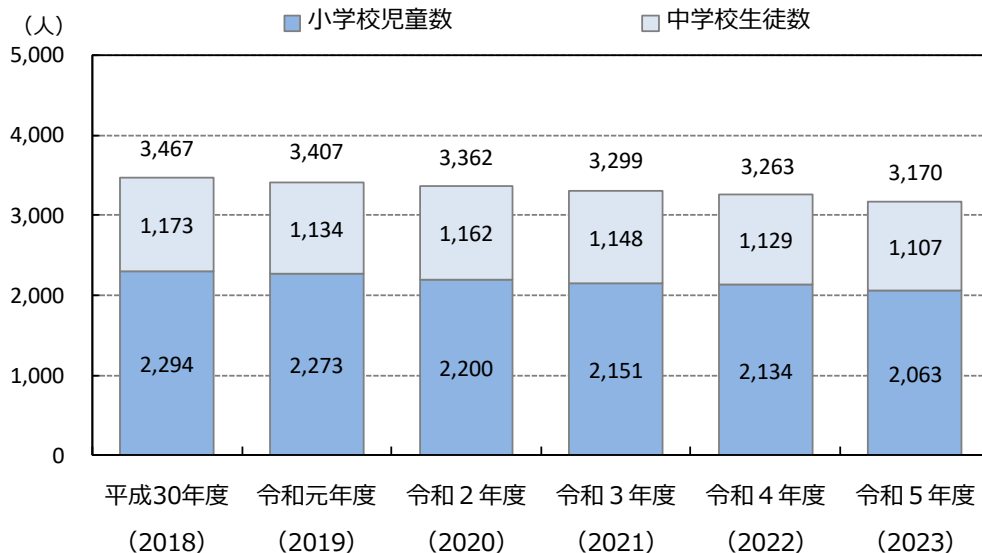
年齢階層別構成		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号 被保険者	人数(人)	194	176	335	252	155	166	111	1,389
	割合(%)	13.6	12.3	23.5	17.7	10.9	11.6	7.8	97.4
前期 高齢者	人数(人)	26	26	42	27	15	15	19	170
	割合(%)	1.8	1.8	2.9	1.9	1.1	1.1	1.3	11.9
後期 高齢者	人数(人)	168	150	293	225	140	151	92	1,219
	割合(%)	11.8	10.5	20.5	15.8	9.8	10.6	6.5	85.5
第2号 被保険者	人数(人)	4	4	6	8	3	5	7	37
	割合(%)	0.3	0.3	0.4	0.6	0.2	0.4	0.5	2.6
合計	人数(人)	198	180	341	260	158	171	118	1,426

出典:介護保険事業状況報告(令和5(2023)年9月30日現在)

4 児童・生徒数

本町における児童・生徒数の推移をみると、児童数・生徒数ともに平成30(2018)年度から減少しており、令和5(2023)年度の児童数は2,063人、生徒数は1,107人となっています。

児童・生徒数の推移



出典:教育委員会(各年5月1日現在)

小中学校の学級数と児童・生徒数

学校別		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
利府小学校	学級数	3	3	3	3	3	3	4	22
	児童数	91	98	88	81	87	88	11	544
利府第二小学校	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
	児童数	58	58	69	62	52	46	12	357
利府第三小学校	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
	児童数	63	64	68	62	73	70	11	411
しらかし台小学校	学級数	2	2	2	1	2	2	3	14
	児童数	46	42	40	34	42	43	7	254
青山小学校	学級数	1	2	2	2	2	2	2	13
	児童数	30	46	44	55	44	57	6	282
菅谷台小学校	学級数	1	1	1	1	2	2	3	11
	児童数	15	32	31	32	50	49	6	215
利府中学校	学級数	5	4	5	-	-	-	5	19
	生徒数	152	144	165	-	-	-	18	479
しらかし台中学校	学級数	3	3	3	-	-	-	2	11
	生徒数	105	102	85	-	-	-	7	299
利府西中学校	学級数	4	3	3	-	-	-	3	13
	生徒数	109	92	120	-	-	-	8	329

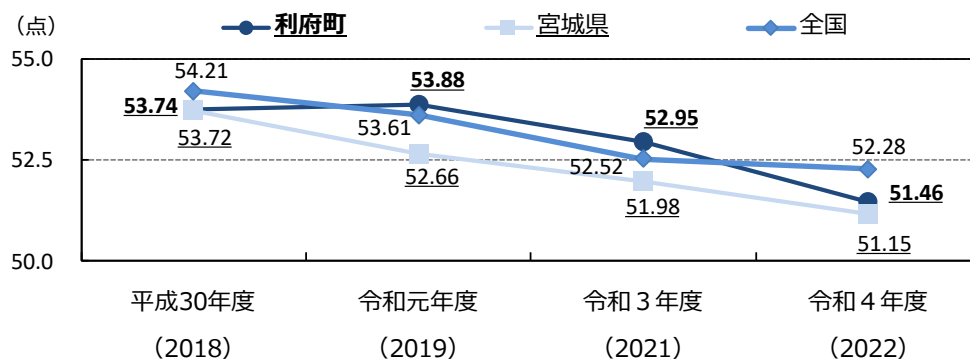
出典:教育委員会(令和5(2023)年5月1日現在)

5 児童・生徒の体力・運動能力

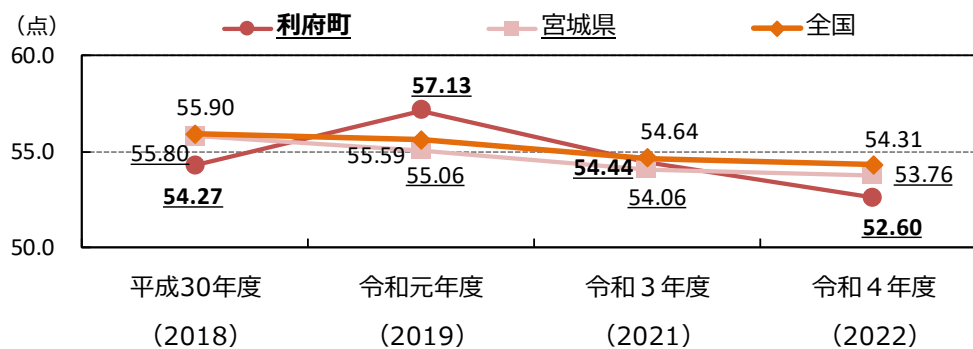
本町における児童の体力合計点の推移をみると、令和4(2022)年度の小学5年生男子の体力合計点は51.46点となっており、宮城県平均は上回っているものの、全国平均は下回っています。同学年女子の体力合計点は52.60点となっており、宮城県平均及び全国平均を下回っています。

児童の体力合計点の推移

■小学5年生男子の体力合計点



■小学5年生女子の体力合計点

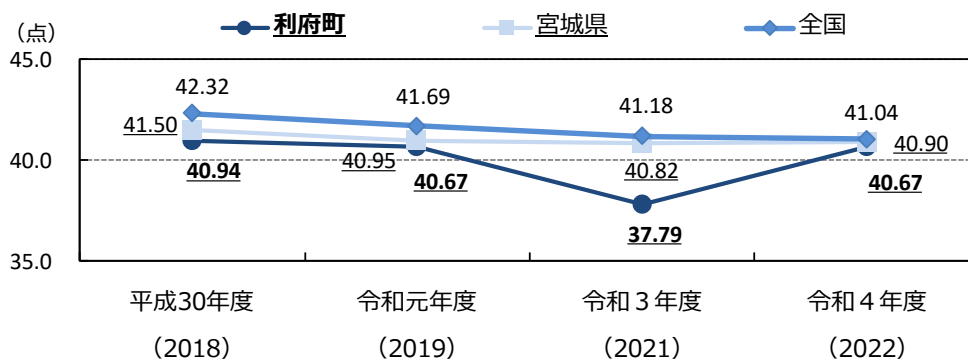


出典:全国体力・運動能力、運動習慣調査

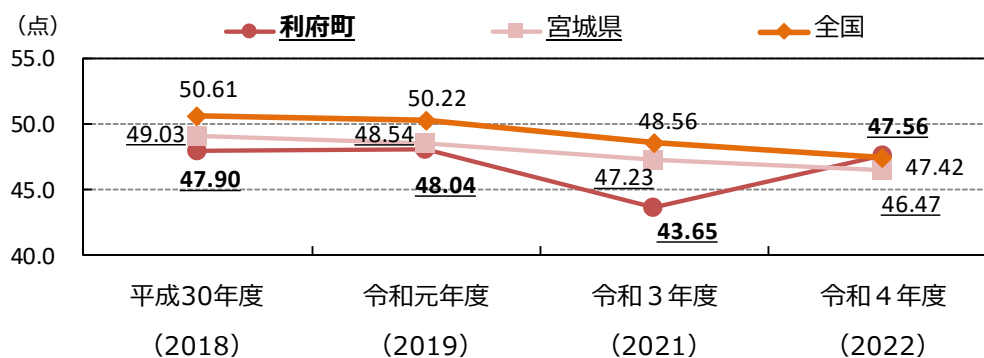
本町における生徒の体力合計点の推移をみると、令和4(2022)年度の中学2年生男子の体力合計点は40.67点となっており、宮城県平均及び全国平均を下回っています。一方、同学年女子の体力合計点は47.56点となっており、宮城県平均及び全国平均を上回っています。

生徒の体力合計点の推移

■中学2年生男子の体力合計点



■中学2年生女子の体力合計点



出典:全国体力・運動能力、運動習慣調査

6 小・中学校教員数

本町における小・中学校教員数の推移をみると、小学校・中学校ともに平成30(2018)年度に比べ減少しており、令和5(2023)年度の小学校教員数は147人、中学校教員数は83人、合計230人となっています。

小・中学校教員数の推移

(単位:人)

学校別		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
小 学 校	利府小学校	38	36	41	38	37	37
	利府第二小学校	30	24	25	30	24	27
	利府第三小学校	26	24	25	26	25	23
	しらかし台小学校	23	23	25	23	22	23
	青山小学校	25	23	24	25	22	20
	菅谷台小学校	22	22	21	22	20	17
	合計	164	152	161	164	150	147
中 学 校	利府中学校	34	32	33	34	37	33
	しらかし台中学校	28	25	25	28	22	22
	利府西中学校	32	26	30	32	27	28
	合計	94	83	88	94	86	83
合計		258	235	249	258	236	230

出典:教育委員会(各年5月1日現在)

7 スポーツ施設及び学校施設開放事業の利用状況

本町におけるスポーツ施設の利用状況をみると、令和4(2022)年度では総利用者数116,524人となっています。5か年で最も利用者数の多かった令和元(2019)年度に比べると67,235人減少していますが、新型コロナウイルスの影響で大幅に利用者数が減少した令和2(2020)年度に比べると26,257人増加しています。

学校開放事業の利用状況をみると、小中学校(9校)の体育館や校庭が利用されており、令和4(2022)年度の延利用者数は52,854人となっています。

スポーツ施設の利用状況

(単位:人)

区分	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
総合体育館	67,594	61,726	40,683	39,331	35,090
屋内温水プール (各種フィットネス教室含む)	64,066	58,653	24,430	25,143	37,850
中央公園 (楽天観戦者含む)	26,609	56,644	21,149	26,648	33,227
沢乙北公園	5,184	6,736	4,005	7,357	10,357
合計	163,453	183,759	90,267	98,479	116,524

出典:教育委員会(各年度末現在)

学校施設開放事業の利用状況

区分	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
学校施設数(校)	9	9	9	9	9
延利用者数(人)	58,952	53,653	40,423	37,296	52,854

出典:教育委員会(各年度末現在)

8 町内の公園及び児童遊園の状況

本町における公園及び児童遊園の状況をみると、令和2(2020)年度では公園及び児童遊園は86箇所あり、遊具数は261基となっています。

町内の公園及び児童遊園の箇所数

(単位:箇所)

種別	箇所数
公園	77
児童遊園	9
合計	86

出典:都市開発部施設管理課(令和2(2020)年3月現在)

町内の公園及び児童遊園における遊具数

(単位:基)

主な種類	公園	児童遊園	計
ブランコ	39	9	48
スプリング遊具	38	10	48
滑り台	36	3	39
鉄棒	23	10	33
複合遊具	18	2	20
リンク遊具	16	5	21
その他	36	16	52
合計	206	55	261

出典:都市開発部施設管理課(令和2(2020)年3月現在)

9 町内で行われるスポーツ大会・イベント等の状況

近年、本町では、新たなスポーツ文化の創造やスポーツ振興に向けて、様々なスポーツに関する事業が行われています。また、全国高等学校総合体育大会や東京2020オリンピック競技大会など、様々なスポーツ大会やイベント等が開催されています。

毎年行われる特色あるスポーツ大会やイベント等

開催予定月	事業名/主催者	会場/競技種目等
4月	囿 利府リボン/アイスリボン	町総合体育館/女子プロレス
4～9月	プロ野球イースタンリーグ公式戦/楽天野球団	楽天イーグルス利府球場/プロ野球
5月	囿 TGR ラリーチャレンジ in 利府/トヨタ自動車	町内/モータースポーツ
	囿 スポーツ流鏝馬大会/利府町	町多目的運動場/スポーツ流鏝馬
	町民体力テスト/利府町	町総合体育館/標準の体力測定
6月	ふるさとスポーツ祭/利府町	町総合体育館、他/老若男女の参加を考慮した6種目
9月	ミヤギテレビ杯ダンロップ女子ゴルフ選手権大会/ミヤギテレビ	利府ゴルフ倶楽部/女子ゴルフ
10月	スポーツ交流フェスティバル ⇒ 囿 ニュースポーツフェスティバル/利府町	町総合体育館/ニュースポーツ 10種目
11月	全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝)/日本実業団陸上競技連合	浜田地区(全体:松島町～仙台市)/女子駅伝
	囿 利府ラリー/JAF 東北地域クラブ協議会	町内/モータースポーツ

囿＝概ね3年未満の新規事業

近年行われた大規模スポーツ大会及び関連イベント等

年月	事業名/主催者	場所/競技種目等
平成29(2017)年 7月・8月	全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)/全国高等学校体育連盟	G21、他/水泳(競泳・飛込)、バレーボール、サッカー、アーチェリー
令和2(2020)年 1月・2月	女性アスリートセミナー/利府町・スポーツコミッション仙台	町公民館、他/オリンピック前セミナー
令和3(2021)年 7月	東京2020オリンピック競技大会/東京2020組織委員会	G21宮城スタジアム/サッカー競技(全10試合)
令和4(2022)年 6月	RIFU2022レガシーイベント/利府町	町内(役場～菅谷台)/ウォークラリー

2 町民へのアンケート調査結果からみる現状

町民に対して、スポーツ推進に係る現状分析や課題の整理を行うためのアンケート調査を実施しました。

■町民へのアンケート調査

項目	内容
対象者	18歳以上の町民1,000名
対象者の選定方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和5年6月14日～6月30日
調査方法	郵送調査
回収数(回収率)	306件(30.6%)

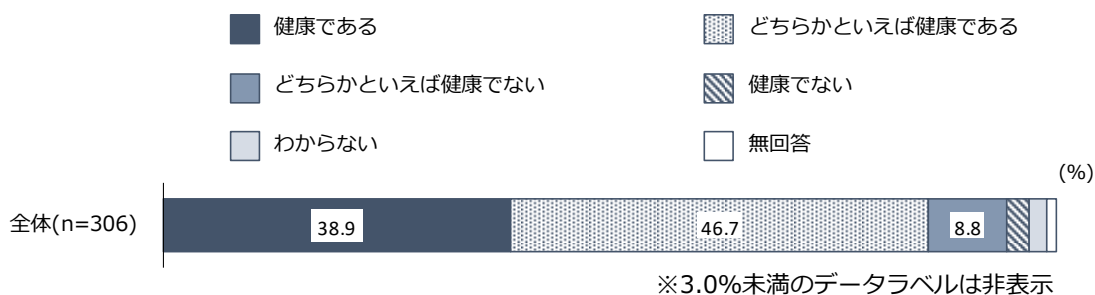
1 健康状態・健康を保つために心掛けていること

町民に対するアンケート結果によると、自身の健康状態について、「健康である」「どちらかといえば健康である」を合わせた『健康である』方は85.6%となっています。

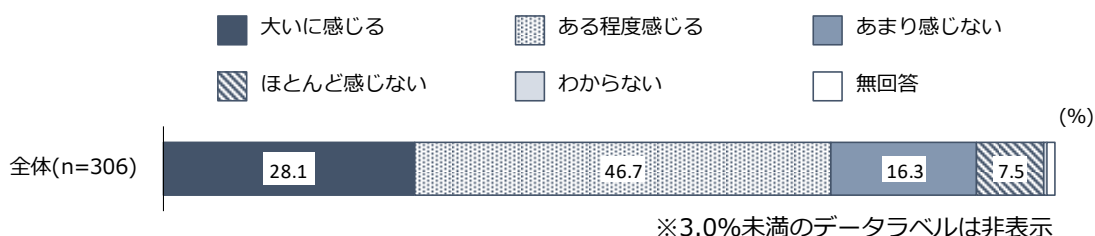
一方、運動不足を感じるかについては、「大いに感じる」「ある程度感じる」を合わせた『運動不足を感じる』方は74.8%となっています。

健康を保つために心掛けていることは、「睡眠・休息を十分にとる」が62.1%と最も高く、次いで「栄養や食事に気を付ける」(61.4%)となっています。健康を保つために「運動やスポーツをする」と答えた方は35.6%となっています。

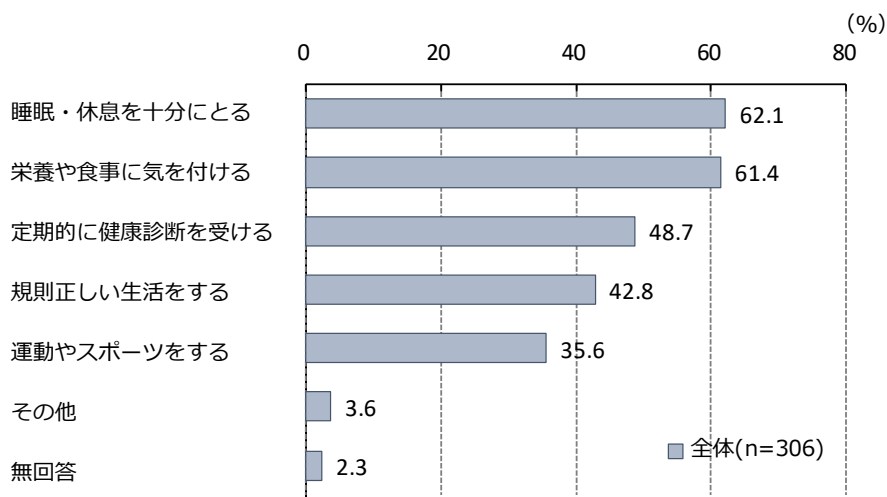
健康状態



運動不足を感じるか



健康を保つために心掛けていること

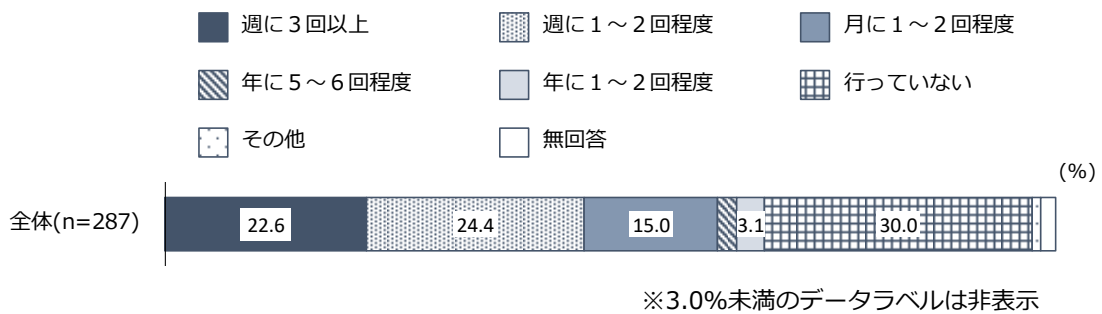


2 運動やスポーツの実施状況

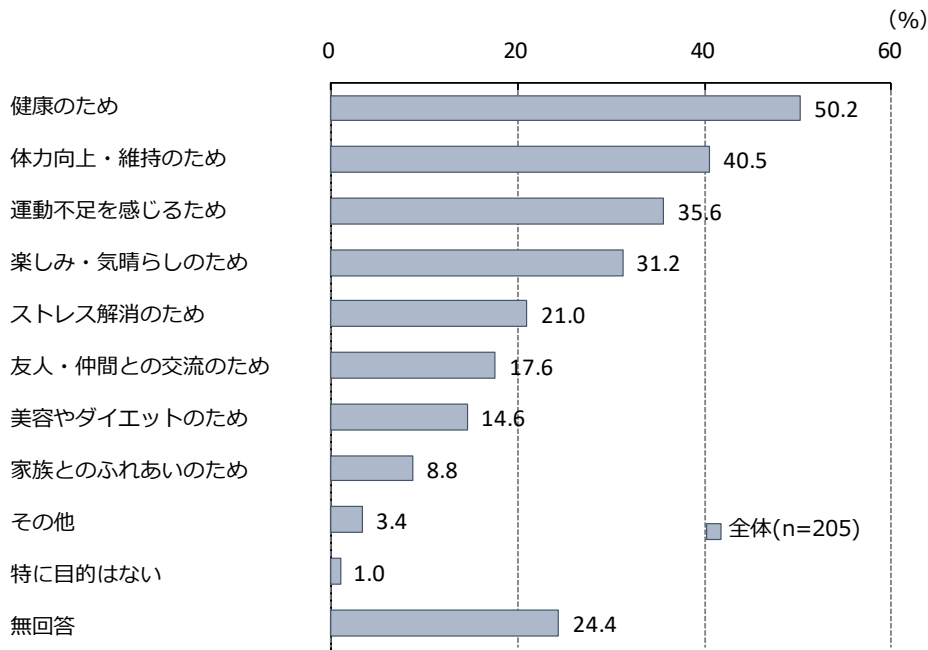
町民に対するアンケート結果によると、成人(20歳以上)の運動やスポーツの実施頻度について、「週に3回以上」「週に1～2回程度」を合わせた『週に1回以上スポーツをする』方は47.0%となっています。一方、「行っていない」は30.0%となっています。

運動やスポーツを実施する目的は、「健康のため」が50.2%と最も高く、次いで「体力向上・維持のため」(40.5%)、「運動不足を感じるため」(35.6%)となっています。

成人(20歳以上)の運動やスポーツの実施頻度



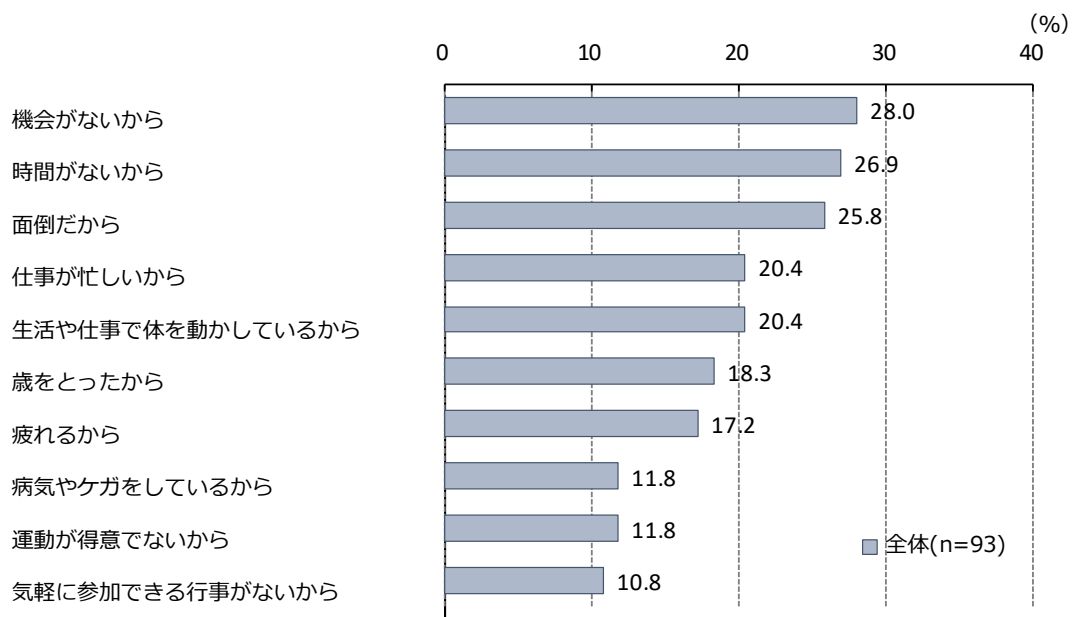
運動やスポーツを実施する目的



運動やスポーツを行っていない理由は、「機会がないから」が28.0%と最も高く、次いで「時間がないから」(26.9%)、「面倒だから」(25.8%)となっています。

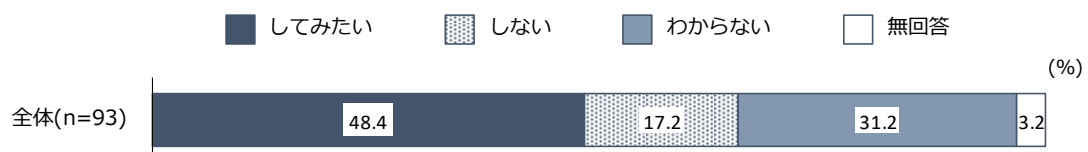
また、運動やスポーツを行っていない方の今後の実施希望については、「してみたい」が48.4%となっています。

運動やスポーツを行っていない理由



※上位 10 項目を掲載

運動やスポーツの実施希望

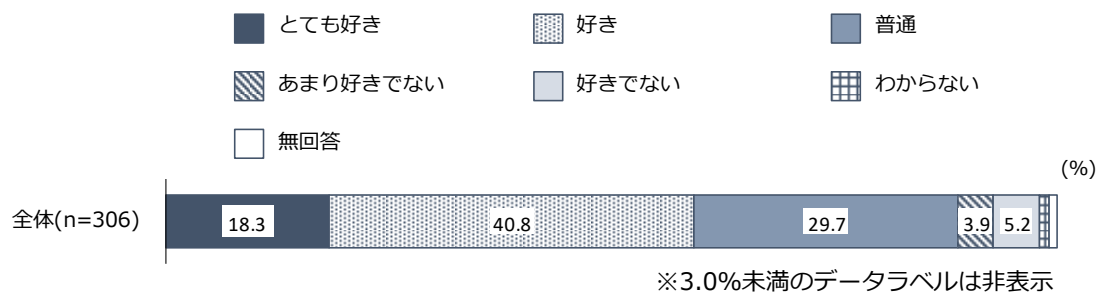


3 スポーツ観戦の状況

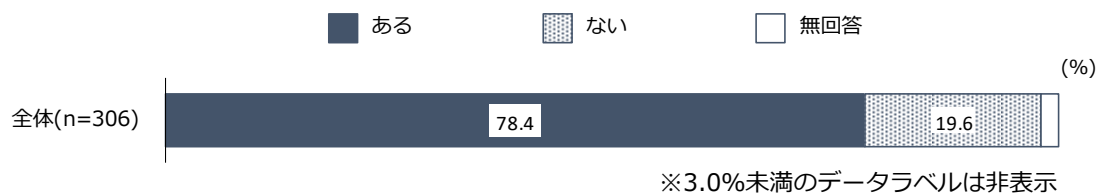
町民に対するアンケート結果によると、スポーツをみるのが好きかについて、「とても好き」「好き」を合わせた『好き』と答えた方は59.1%となっています。

競技場等でスポーツ観戦をしたことがあるかについては、「ある」が78.4%となっています。

スポーツをみるのが好きか



競技場等でスポーツを観戦したことがあるか

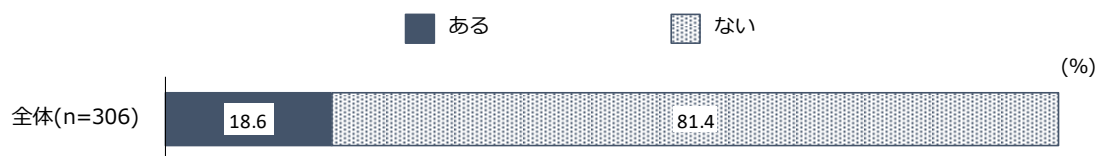


4 スポーツボランティアの実施状況

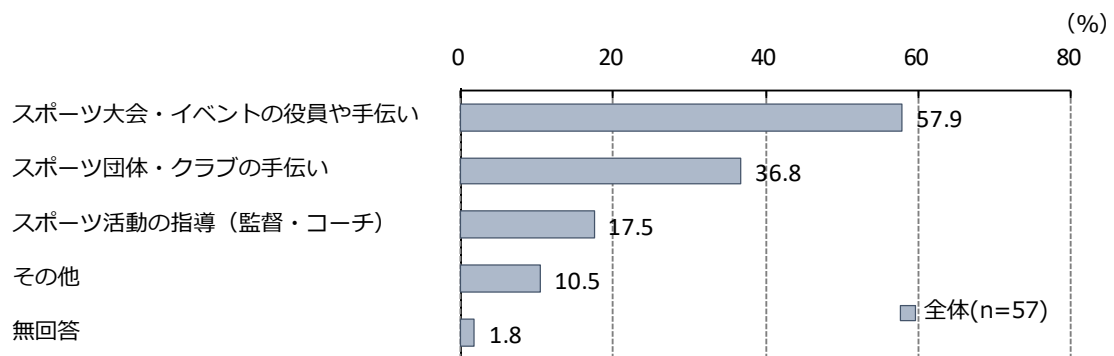
町民に対するアンケート結果によると、スポーツボランティアの実施経験について、「ない」が81.4%となっています。

実施したスポーツボランティアの内容は、「スポーツ大会・イベントの役員や手伝い」が57.9%と最も高く、次いで「スポーツ団体・クラブの手伝い」(36.8%)となっています。

スポーツボランティアの実施経験



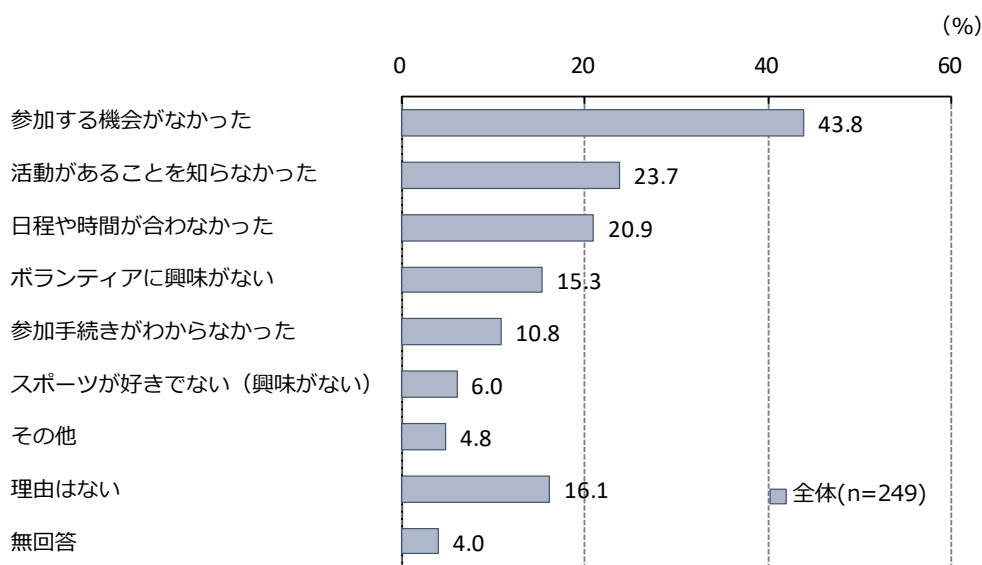
実施したスポーツボランティアの内容



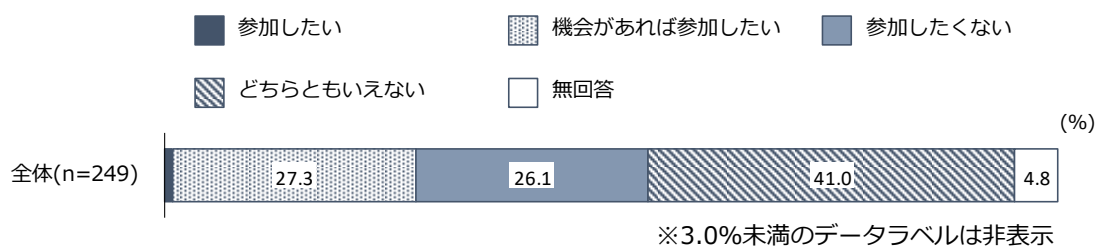
スポーツボランティアを行ったことがない理由は、「参加する機会がなかった」が43.8%と最も高く、次いで「活動があることを知らなかった」(23.7%)、「日程や時間が合わなかった」(20.9%)となっています。

また、スポーツボランティアを行ったことがない方の今後の実施希望については、「参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた『参加したい』方は28.1%となっています。

スポーツボランティアを行ったことがない理由



今後のスポーツボランティアの実施希望

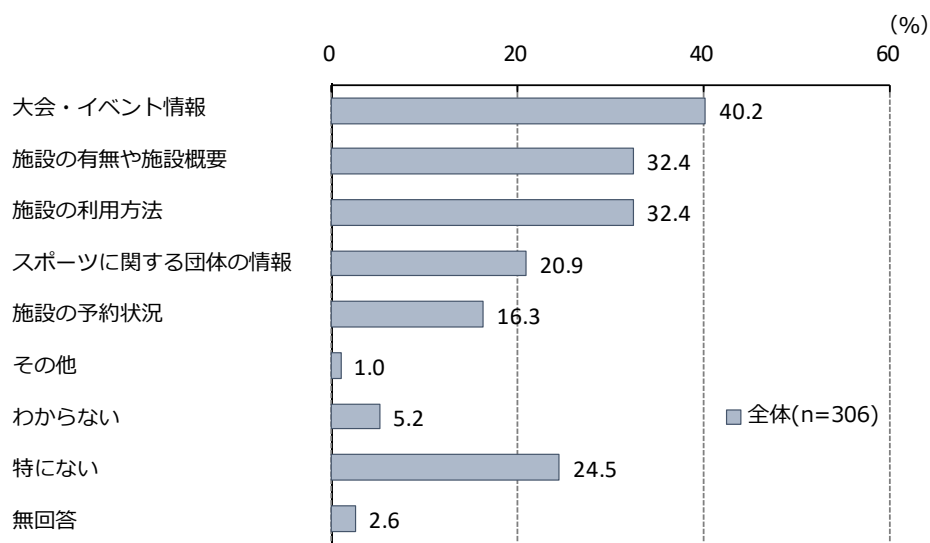


5 スポーツに関する情報

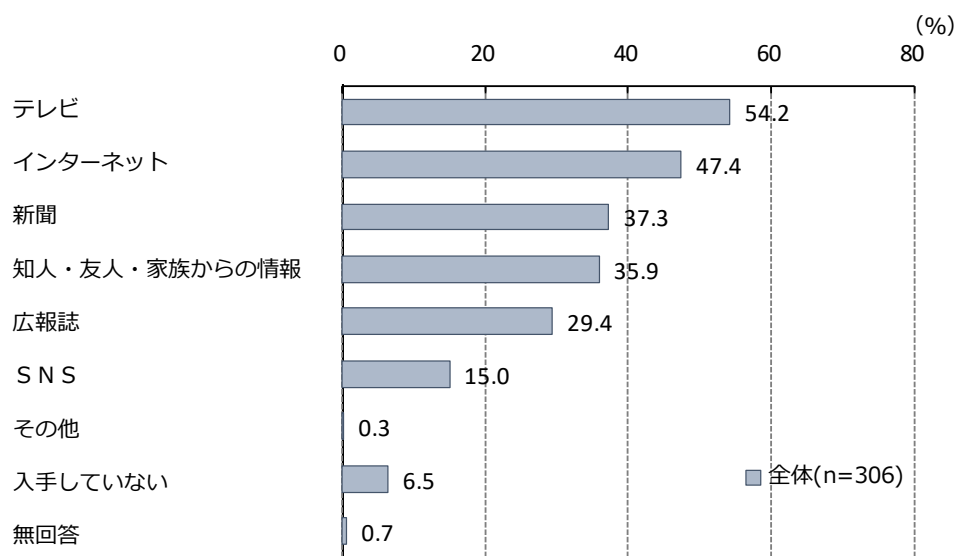
町民に対するアンケート結果によると、運動やスポーツに関して知りたい情報は、「大会・イベント情報」が40.2%と最も高く、次いで「施設の有無や施設概要」「施設の利用方法」(ともに32.4%)となっています。

運動やスポーツに関する情報の入手先については、「テレビ」が54.2%と最も高く、次いで「インターネット」(47.4%)、「新聞」(37.3%)となっています。

運動やスポーツに関して知りたい情報



運動やスポーツに関する情報の入手先



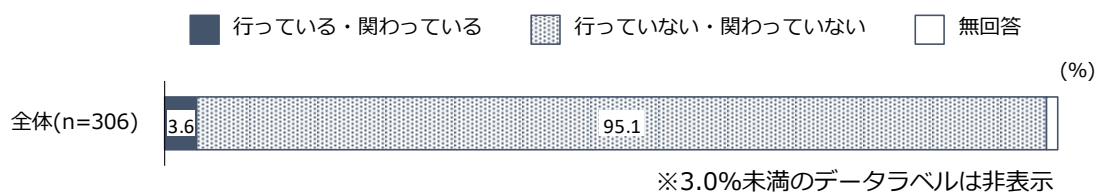
6 町民における障がい者スポーツとの関わり

町民に対するアンケート結果によると、町民における障がい者スポーツとの関わりについて、「行っていない・関わっていない」が95.1%となっています。

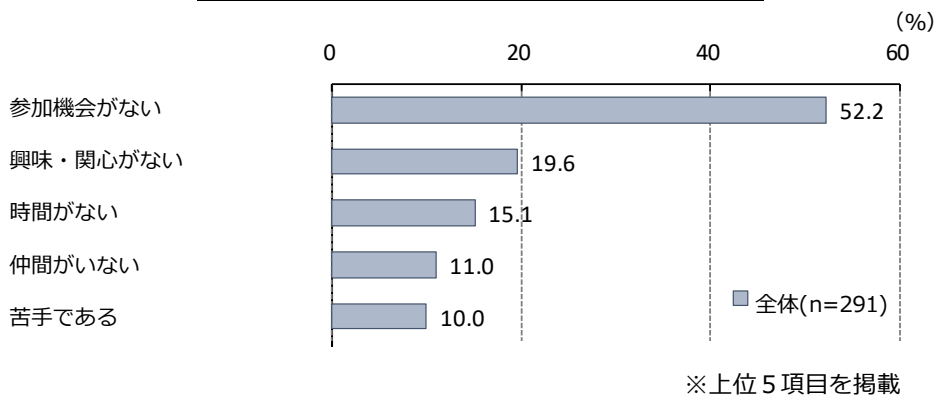
障がい者スポーツとの関わりがない理由は、「参加機会がない」が52.2%と最も高く、次いで「興味・関心がない」(19.6%)となっています。

障がい者スポーツの普及や推進に必要なことについては、「情報発信・普及啓発の拡大」が65.7%と最も高く、次いで「施設的环境整備」(48.0%)、「地域参加できる機会」(43.8%)となっています。

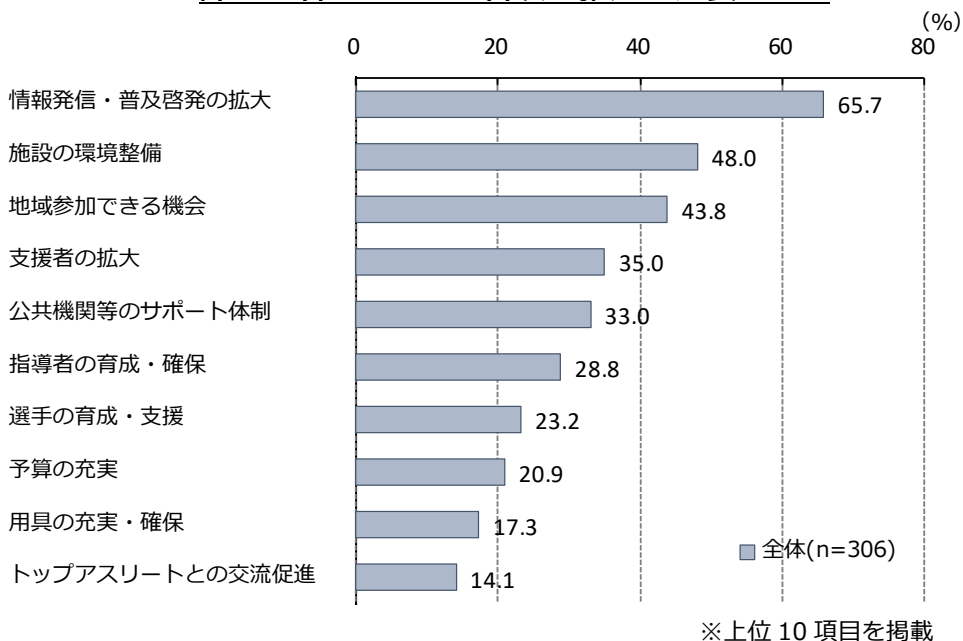
町民における障がい者スポーツとの関わり



障がい者スポーツとの関わりがない理由



障がい者スポーツの普及や推進に必要なこと

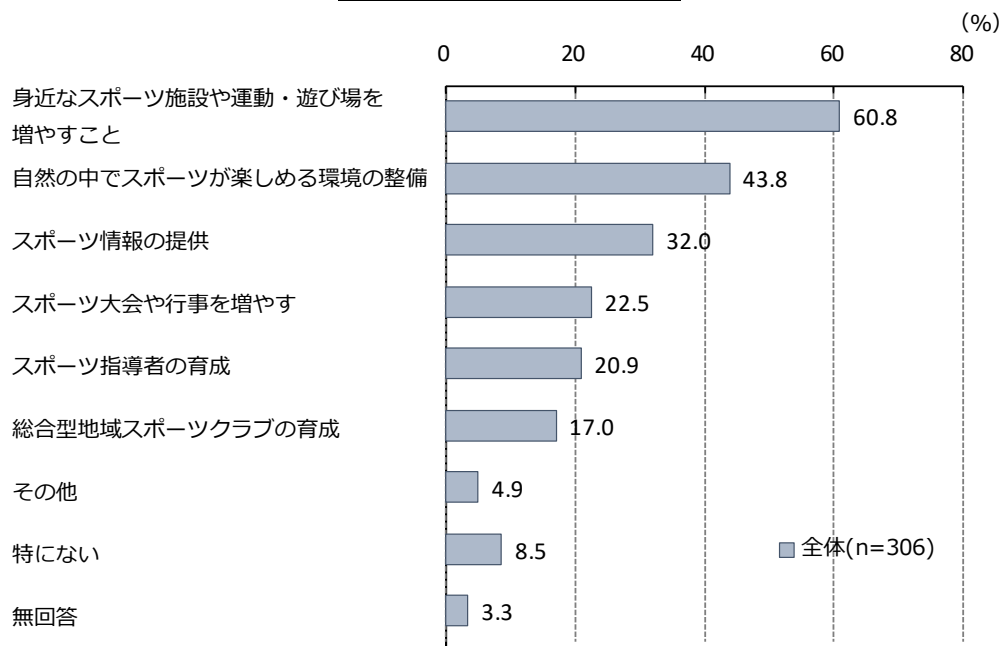


7 地域のスポーツ振興

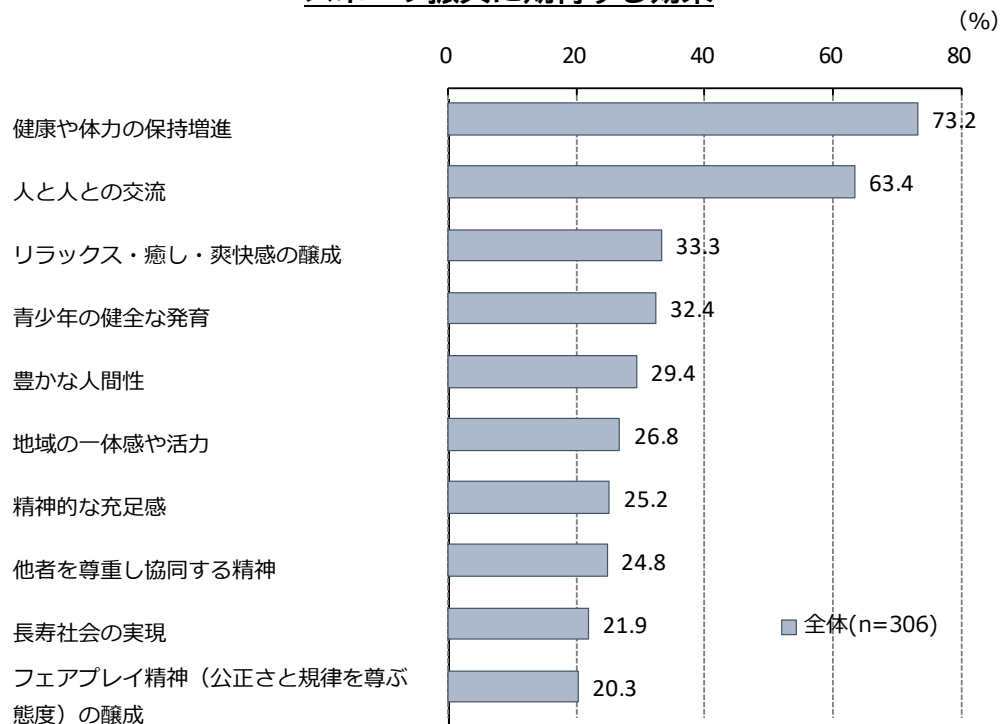
町民に対するアンケート結果によると、スポーツ振興に望むことについて、「身近なスポーツ施設や運動・遊び場を増やすこと」が60.8%と最も高く、次いで「自然の中でスポーツが楽しめる環境の整備」(43.8%)、「スポーツ情報の提供」(32.0%)となっています。

スポーツ振興に期待する効果については、「健康と体力の保持増進」が73.2%と最も高く、次いで「人と人との交流」(63.4%)、「リラックス・癒し・爽快感の醸成」(33.3%)となっています。

スポーツ振興に望むこと



スポーツ振興に期待する効果



※上位 10 項目を掲載

3 関係団体へのアンケート調査結果からみる現状

スポーツ関係団体に対して、スポーツ推進に係る現状分析や課題の整理を行うためのアンケート調査を実施しました。

■関係団体へのアンケート調査

項目	内容
対象者	町内でスポーツに関連する活動を行う団体115団体 (体育協会:46団体、スポーツ少年団:18団体、武道連盟:1団体、 総合型地域スポーツクラブ:1団体、その他の団体:27団体、 障がい者に関する団体:2団体、健康づくり関係団体:2団体、 子ども会育成会連合会:18団体)
対象者の選定方法	町内でスポーツに関する活動を行う団体を抽出
調査期間	令和5年7月5日～7月21日
調査方法	郵送調査
回収数(回収率)	74件(64.3%)

1 団体の活動状況

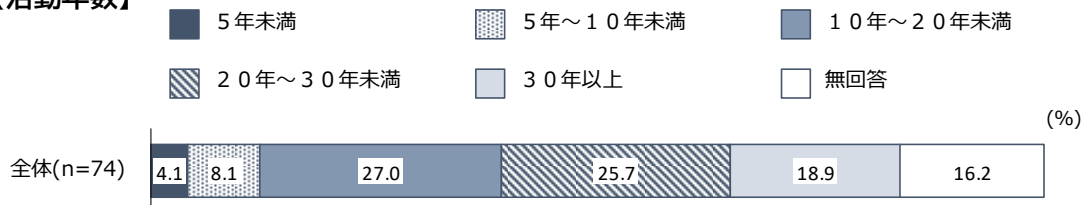
スポーツ関係団体に対するアンケート結果によると、活動年数は「10年～20年未満」が27.0%と最も高く、次いで「20年～30年未満」(25.7%)となっています。

活動頻度については、「週に1～2回程度」が28.4%と最も高く、次いで「週に3～4回程度」「月に1～3回程度」(ともに24.3%)となっています。

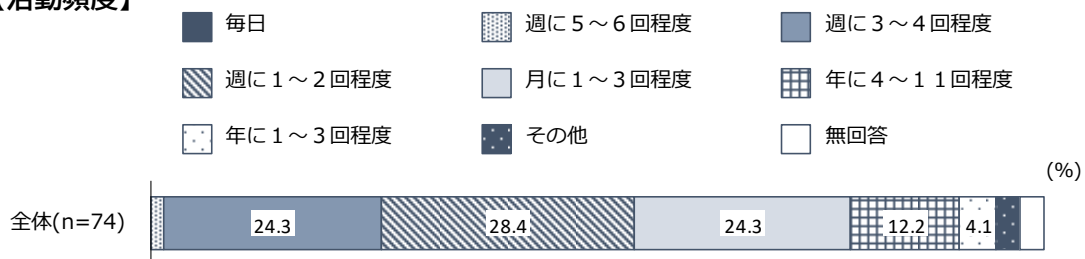
活動目的については、「運動やスポーツを楽しむため」が66.2%と最も高く、次いで「会員の健康・体力づくり」(62.2%)、「子どもたちの健全育成」「地域活性化のため」(ともに35.1%)となっています。

活動年数・活動頻度

【活動年数】

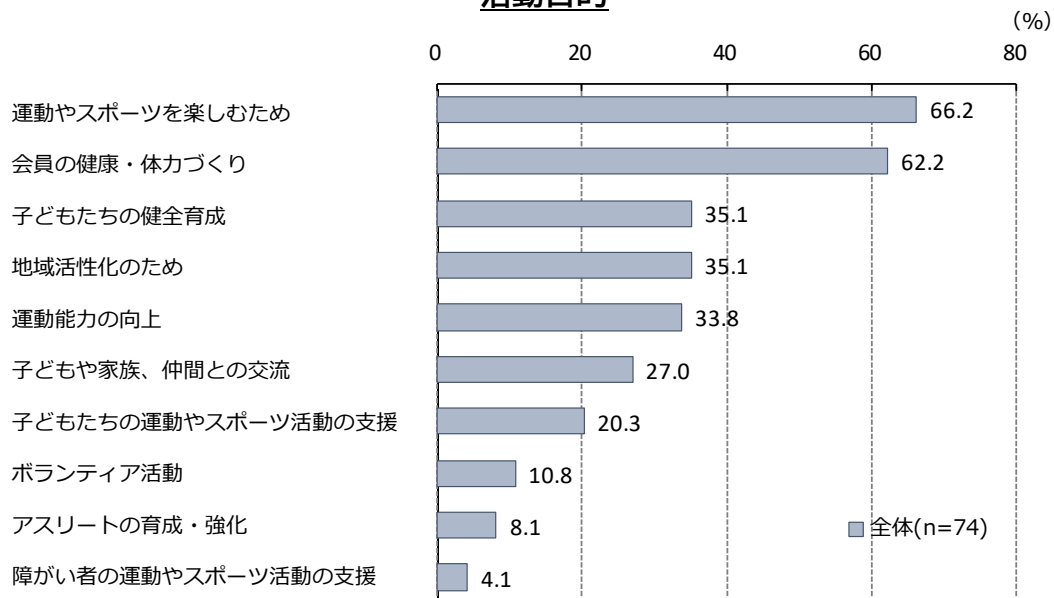


【活動頻度】



※3.0%未満のデータレベルは非表示

活動目的



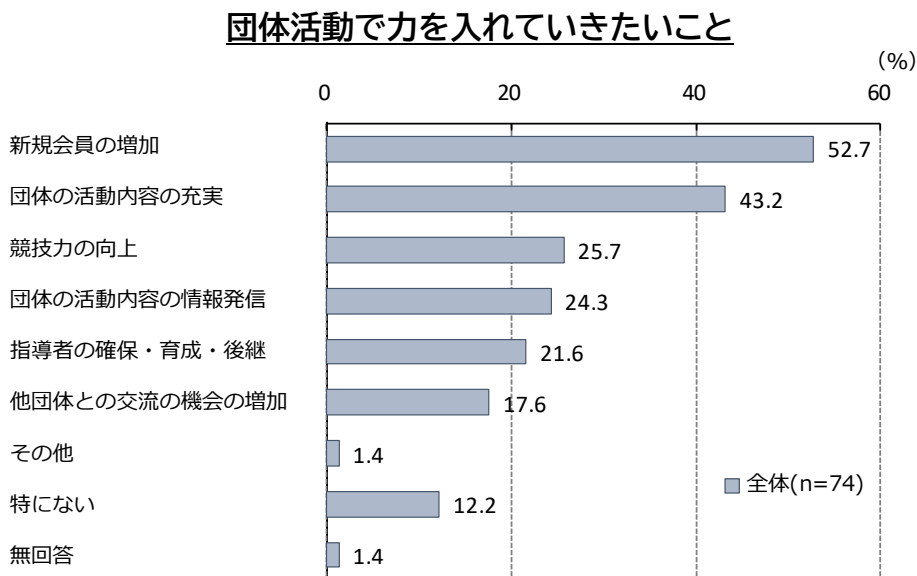
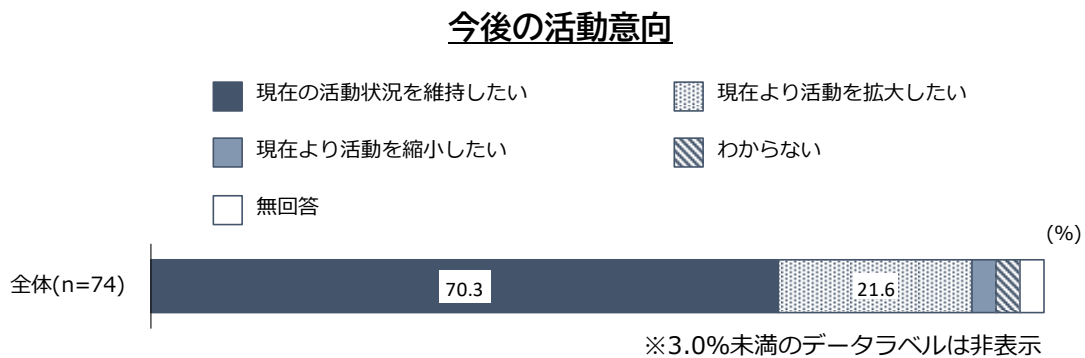
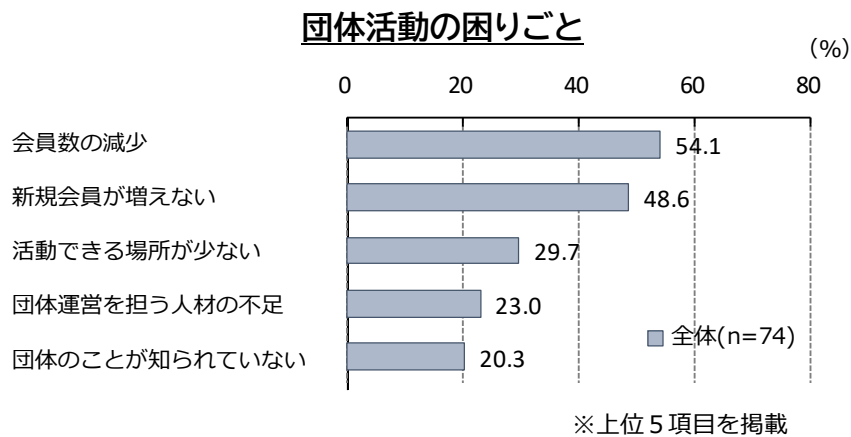
※上位10項目を掲載

2 団体活動における困りごとや今後の活動意向

スポーツ関係団体に対するアンケート結果によると、団体活動の困りごとについて、「会員数の減少」が54.1%と最も高く、次いで「新規会員が増えない」(48.6%)となっています。

今後の活動意向については、「現在の活動状況を維持したい」が70.3%と最も高く、次いで「現在より活動を拡大したい」(21.6%)となっています。

力を入れていきたいことについては、「新規会員の増加」が52.7%と最も高く、次いで「団体の活動内容の充実」(43.2%)となっています。



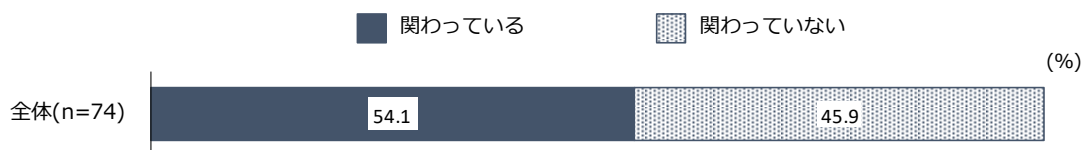
3 運動やスポーツに関するイベントの開催・運営

スポーツ関係団体に対するアンケート結果によると、スポーツイベントや大会、教室等の開催・運営への関わりについて、「関わっている」が54.1%となっています。

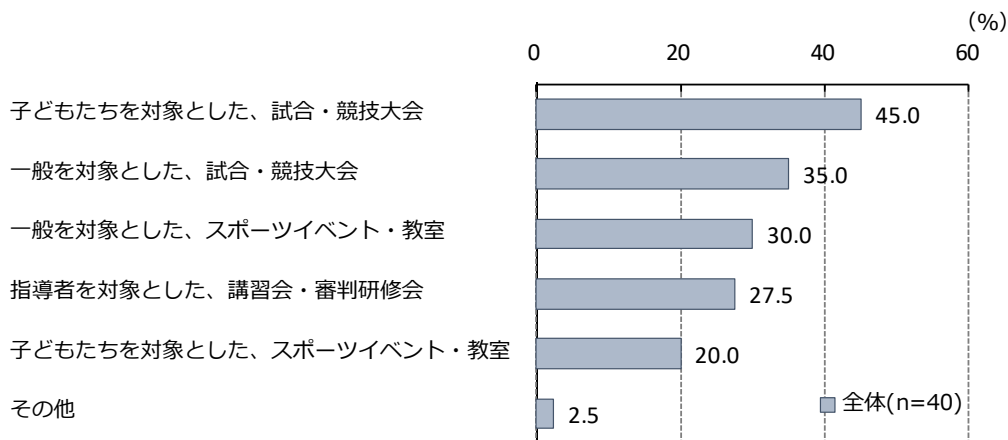
具体的に関わっているイベント等の内容については、「子どもたちを対象とした、試合・競技大会」が45.0%と最も高く、次いで「一般を対象とした、試合・競技大会」(35.0%)となっています。

今後の意向については、「ぜひ関わりたい」「機会があれば、関わりたい」を合わせた『関わりたい』団体が67.6%となっています。

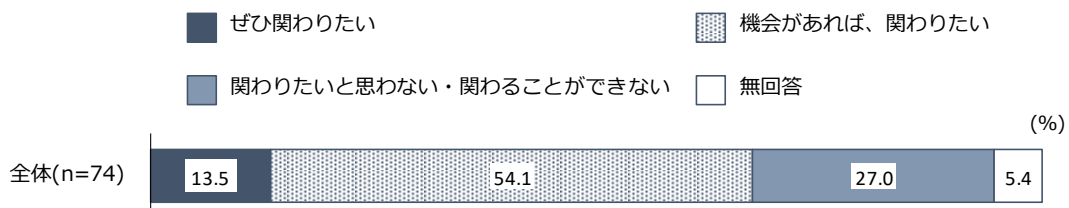
スポーツイベントや大会、教室等の開催・運営への関わり



具体的に関わっているスポーツイベントや大会、教室等の内容



今後のスポーツイベントや大会、教室等の意向



4 本町スポーツ振興における課題

社会情勢の変化や社会的な課題、本町を取り巻く状況、町民や関係団体へのアンケート調査結果等を踏まえ、本町スポーツ振興における課題を以下4つと考えます。

課題① 誰もが楽しめる運動・スポーツの推進

本町には、県並びに町の体育施設や都市公園など、スポーツに親しむ環境が身近に数多くありますが、成人の週1回以上のスポーツ実施率は、全国(52.3%)よりも低い、47.0%となっています。さらに町民アンケート調査では、『運動不足を感じる』方が7割以上となっており、町民の健康増進等のためにも、運動・スポーツの推進が必要です。

子どもの運動・スポーツについては、令和4年度の「全国体力・運動能力、運動習慣調査」によると、中学生女子は全国平均を上回っておりますが、小学生男女と、中学生男子は全国平均を下回っておりますので、子どもたちの運動・体力の向上に関する対策も必要となっております。

また、スポーツは人種や国籍、性別、年齢、障がい者、健常者などに関わらず楽しめるものであり、ともにスポーツに親しむことで、人格や個性を尊重し合い、多様性を認め合うことができる共生社会の実現が期待されます。

子どもから大人まで、障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しめる運動・スポーツを推進していくことが必要です。

課題② スポーツ推進を支える環境の整備・充実

運動やスポーツを行う環境の整備においては、指定管理者制度の導入による管理運営業務の充実や学校・体育施設等の利用促進など、スポーツに親しめる環境の整備を行っており、引き続き、誰もが安全・安心に利用することができるよう適正な維持管理に努めるとともに、町内のスポーツ施設等を有効活用できるよう、利用促進を図ることが必要です。

スポーツ団体等の活動については、町内の運動・スポーツ等に関する団体へのアンケート調査にて、『現在より活動を拡大したい』と回答した団体が約2割となるなど、今後も積極的な活動が行われていくことが見込まれ、町内におけるスポーツ活動を活性化するためにも、スポーツ団体等への活動支援等を行うことが必要です。

スポーツを担う人材については、健康やスポーツに関する知識や技術を持っている方を登録し、希望する町民や団体へ紹介する生涯学習人材バンクの取組みのほか、スポーツの実技指導やスポーツ活動を行うスポーツ推進委員を任命し、様々な事業展開に対応しています。

町民へのアンケート調査をみると、スポーツボランティアを実施したことがない方のうち、約3割が『機会があれば参加したい』と回答しており、スポーツボランティアに対する関心の高さが伺えます。

今後、町民が生涯にわたり、スポーツに親しむなど、本町におけるスポーツ振興の更なる発展を目指すためにも、スポーツ推進を支える環境の整備・充実を図っていくことが必要です。

課題③ 新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出

本町では、平成13(2001)年の第56回国民体育大会や、2002FIFAワールドカップ、東京2020オリンピックサッカー競技など、数々の大規模スポーツ大会が開催されており、町内外からスポーツの盛んな町として認識されています。近年では、モータースポーツやスポーツ流鏑馬の推進など、本町ならではの新たなスポーツ文化の創造にも取り組んでいます。

さらに、女性アスリートが活躍できる環境を整備するために、どのような課題があってどう支援していけるかなど課題を整理し、女性アスリートを支援し育てていくための検討を進めています。

また、子どもから高齢者まで、町民誰もが楽しめるスポーツとして、ふるさとスポーツ祭やニュースポーツフェスティバルを開催するなど、身近な地域でのにぎわいを創出しています。

見る人に夢と感動を与えてくれるスポーツ、私たちの生活の中で心豊かにしてくれるスポーツ、お互いに尊重しあい助け合いながら前に向かって歩むためのスポーツなど、利府町ならではのスポーツを振興するためにも、新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出が必要です。

課題④ スポーツによる地域活性化・まちづくり

近年、人口減少や少子高齢化の影響により、多くの自治体が消滅してしまう危機的状況となっており、新型コロナウイルスをはじめとする感染症や大規模災害の発生等により、本町においても「持続可能なまち」へ発展していくことが必要となっています。

ここ数年は、スポーツの分野においても、新型コロナウイルス等により、イベントや大会への影響が出ていましたが、令和5年5月8日以降は感染法上の位置づけが5類感染症となり、個々人の判断で感染対策等を行いながら、スポーツイベント等を開催している状況にあります。

町民アンケート調査では、運動やスポーツを行っていない方のうち、約半数の方が『条件が整えば今後運動やスポーツをしてみたい』と回答しており、団体アンケート調査では、『今後スポーツイベントや大会、教室等の開催に関わりたい』と回答した団体が約7割であるなど、スポーツへの関心が高いことから、地域に根差したスポーツイベント等を開催することにより、交流の場が拡充され、地域コミュニティの活性化や町への誇りの醸成等に繋がることが期待されます。

こうしたスポーツによる地域活性化に寄与するためには、町内におけるスポーツイベントやスポーツ施設、スポーツ団体等に関する情報の充実に努め、情報発信を行っていくことも必要です。

また、本町におけるスポーツ振興では、利府球場で行う東北楽天ゴールデンイーグルス二軍公式戦の町民無料観戦事業及びボランティア団体によるサポート事業など、プロスポーツ団体と連携した事業展開によって地域活性化に寄与しています。これらの事業等を踏まえ、より効果的なスポーツによる地域活性化やまちづくりを推進していくための検証が必要になっています。

第3章 本町スポーツの目指す姿

1 目指す姿

本計画を着実に進めることにより、計画期間である10年間で次のような姿が実現していることを目指すものとします。

目指す姿

スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」が一丸となって、豊かな心と高い志をもち、チャレンジ精神をもって新たなスポーツ文化の創造に邁進しています。

そして、町民が生涯にわたり、スポーツに親しみ、ともに活動することで、利府町ならではのスポーツ振興に取組み、ふるさと利府への誇り（シビックプライド）が育まれ、スポーツを愛しむ地域社会が形成されています。

2 計画の目標

本町スポーツが10年間で目指す姿の実現に向けて、次の4つを計画の目標として取り組んでいきます。

基本目標Ⅰ

誰もが楽しめる運動・スポーツの推進

町民の健康増進や子どもたちの運動・体力の向上、共生社会の実現等を図るため、誰もが楽しめる運動・スポーツを推進します。

基本目標Ⅱ

スポーツ推進を支える環境の整備・充実

本町におけるスポーツ振興の更なる発展を目指すため、スポーツ推進を支える環境の整備・充実を図ります。

基本目標Ⅲ

新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出

利府町ならではのスポーツを振興するため、新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出を行います。

基本目標Ⅳ

スポーツによる地域活性化・まちづくり

「持続可能なまち」を目指すため、スポーツによる地域活性化・まちづくりを行います。

3 施策の全体体系

目指す姿

スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」が丸となって、豊かな心と高い志をもち、チャレンジ精神をもって新たなスポーツ文化の創造に邁進しています。

そして、町民が生涯にわたり、スポーツに親しみ、ともに活動することで、利府町ならではのスポーツ振興に取組み、ふるさと利府への誇り（シビックプライド）が育まれ、スポーツを愛しむ地域社会が形成されています。

計画の目標	施策の展開	
I 誰もが楽しめる運動・スポーツの推進	I-1 子どもの運動・スポーツの推進	I-1-1 子どもが運動・スポーツに親しむ機会の創出 I-1-2 子どもの運動能力・体力向上及び健全育成 I-1-3 子どもにスポーツの楽しさを伝える取組みの推進
	I-2 町民の運動・スポーツの推進	I-2-1 町民だれもが運動・スポーツに親しむ機会の創出 I-2-2 町民の運動能力・体力向上及び健康増進 I-2-3 地域で楽しめるスポーツの推進
	I-3 スポーツによる共生社会の推進	I-3-1 障がい者スポーツの理解向上と普及促進 I-3-2 女性の生涯スポーツを支援する体制の構築 I-3-3 スポーツ分野における多様性への対応策の検討
II スポーツ推進を支える環境の整備・充実	II-1 スポーツ施設の充実	II-1-1 長寿命化計画に基づく施設整備 II-1-2 スポーツ施設や学校施設の利用促進 II-1-3 県営施設と町営施設の効果的利用促進の検討
	II-2 スポーツ団体等の活動支援	II-2-1 地域スポーツ活動団体の育成・支援 II-2-2 総合型地域スポーツクラブの活動支援 II-2-3 スポーツ団体の相互協力体制の強化
	II-3 スポーツを担う人材の育成	II-3-1 スポーツを推進する人材の育成 II-3-2 地域でスポーツを支える指導者の育成 II-3-3 スポーツボランティアの育成
III 新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出	III-1 新たなスポーツ文化の推進	III-1-1 特色あるスポーツ事業の展開 III-1-2 女性アスリートを育む環境整備 III-1-3 豊富なスポーツ施設の拠点づくりの検討
	III-2 本町ならではのスポーツ育成	III-2-1 オリンピック開催地としてのレガシー創出 III-2-2 本町ゆかりのアスリート等との連携事業の推進 III-2-3 アーバンスポーツやeスポーツの検討
	III-3 スポーツの町の推進	III-3-1 総合型地域スポーツクラブの拡充 III-3-2 ニュースポーツの普及促進 III-3-3 様々なスポーツへの対応策の検討
IV スポーツによる地域活性化・まちづくり	IV-1 スポーツによる地域コミュニティの活性化	IV-1-1 地域主体のスポーツ活動の支援 IV-1-2 スポーツイベント等によるスポーツツーリズムの創出
	IV-2 スポーツに関する情報の充実	IV-2-1 スポーツに関するイベント等の情報発信 IV-2-2 スポーツ施設に関する情報発信 IV-2-3 スポーツ団体の活動等に関する情報発信
	IV-3 町の魅力向上とシビックプライドの醸成	IV-3-1 魅力を感じるスポーツの展開 IV-3-2 町民のシビックプライドの醸成

第4章 施策の展開

目標Ⅰ 誰もが楽しめる運動・スポーツの推進



I-1 子どもの運動・スポーツの推進

I-1-1 子どもが運動・スポーツに親しむ機会の創出

幼少期から運動やスポーツに親しむことは、心身の成長にとっても大切なことと捉えており、子どもが運動やスポーツに携わることの重要性について保護者等に啓発していくことや、親子がいっしょになって興味を持ち、遊び感覚で参加できるスポーツイベント等を創出してまいります。

I-1-2 子どもの運動能力・体力向上及び健全育成

小中学校の体力テストの結果を見ると子どもの体力・運動能力は低下傾向にあります。体を動かすことの楽しさや喜びを感じてもらえる機会を多くの場面で提供できるように、プロスポーツ選手やトップアスリートが学校を訪れてスポーツの楽しさや感動を与える機会の提供や、放課後子ども教室で遊びながら体を動かす事業の促進などにより子ども達の健全育成に努めてまいります。

I-1-3 子どもにスポーツの楽しさを伝える取組みの推進

中学校の運動部活動の地域移行に向けた取組みについては、地域スポーツ団体やスポーツ少年団等との調整等が必要であります。大切なのはスポーツの楽しさや真剣に取り組む姿勢を伝えることであり、これまで以上に地域と学校、団体等が連携しながら子どもの健全育成を図れるよう体制構築に向けた取組みを推進してまいります。

主な施策

- ◆子ども子育て事業との連携（赤ちゃんハイハイレース等）
- ◆学校体育との連携（体力テスト、運動部活動の地域移行等）
- ◆生涯学習との連携（放課後子ども教室事業等）
- ◆本町ゆかりのアスリートや団体との連携（プロスポーツ団体、地域おこし協力隊等）



赤ちゃんハイハイレース

I-2 町民の運動・スポーツの推進

I-2-1 町民だれもが運動・スポーツに親しむ機会の創出

私たちの生活の中で、運動やスポーツに携わることは健康な暮らしに欠かせない重要なアイテムと考えております。多くの皆さんが元気で健康な生活を維持できるように、個々に応じた運動やスポーツを始めるきっかけづくりを積極的に展開していきます。

I-2-2 町民の運動能力・体力向上及び健康増進

運動やスポーツを定期的に行うことにより、ストレス発散や健康増進が図られ、心身の充実感が得られるものと考えています。個々のライフスタイルに合った楽しみ方をサポートし、スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」のそれぞれの関わり方で、より良い生活環境につながるような事業展開を検証しながら、町民の運動能力・体力向上及び健康増進に努めてまいります。

I-2-3 地域で楽しめるスポーツの推進

地域での運動やスポーツ事業を推進し、地域住民のつながりを育むことで、生きがいづくりや健康増進に寄与し、元気な地域社会の形成が図られるようにするため、地域スポーツの活動に必要な人材の育成を図ってまいります。

主な施策

- ◆だれでも参加できるイベントの開催
(ふるさとスポーツ祭、ニュースポーツフェスティバル等)
- ◆町民体力テストの開催
- ◆出前講座事業の推奨
- ◆スポーツ推進委員や社会体育推進員の活動支援



利府町ふるさとスポーツ祭(開会式)

I-3 スポーツによる共生社会の推進

I-3-1 障がい者スポーツの理解向上と普及促進

町民アンケート調査では、障がい者スポーツについて「知っているが携わったことがない」との回答が多数を占めており、関係者以外には認識が低い状況であります。障がい者スポーツへの理解を高めることや共生社会の実現に向けた機運醸成を図るための情報提供を行うとともに、障がいの有無にかかわらず運動やスポーツを楽しめる環境づくりを推進してまいります。

I-3-2 女性の生涯スポーツを支援する体制の構築

社会的・文化的習慣の中でつくられた性別に基づく役割を解消し、だれもが生涯にわたり運動やスポーツを楽しめる環境整備や、ライフスタイルに応じた支援体制の構築を推進していく中で、特に女性は妊娠や出産、子育てなどによって運動やスポーツに親しむ機会が減少していくため、ライフステージやライフスタイルが変化しても取り組むことができるスポーツ施策を推進してまいります。

I-3-3 スポーツ分野における多様性への対応策の検討

人種や国籍、性別、年齢、障がいの有無、価値観など、幅広い多様性への対応が求められている国際的な潮流の中で、本町のスポーツ分野における課題や問題点について検証しながら、対応策を検討してまいります。

主な施策

- ◆障がい者スポーツに関する情報発信
- ◆障がい者スポーツの体験機会の拡充
- ◆女性の運動やスポーツに対する意向調査の実施
- ◆本町のスポーツ分野における多様性に対する課題等の調査



女性アスリートセミナー

目標Ⅱ スポーツ推進を支える環境の整備・充実



Ⅱ-1 スポーツ施設の充実

Ⅱ-1-1 長寿命化計画に基づく施設整備

町内のスポーツ施設や公園施設等を安全で安心して利用できるように、体育施設や公園等の長寿命化計画を策定し、計画的に適正な維持管理を行い、施設の長寿命化に努めてまいります。また、施設整備において、多様性やバリアフリーへの対応等についても、様々な角度から検討してまいります。

Ⅱ-1-2 スポーツ施設や学校施設の利用促進

各種スポーツ団体等が限りあるスポーツ施設を公平かつ効果的に利用していただけるよう、「年間利用調整会議」を開催し、各団体等主催のスポーツ大会やイベント等の開催を調整してまいります。また、学校施設開放事業を積極的に行い、地域での運動やスポーツ活動を支援してまいります。

Ⅱ-1-3 県営施設と町営施設の効果的利用促進の検討

本町には、町のスポーツ施設以外に県営スポーツ施設等が多く設置されています。本町のスポーツ行政を推進する上で、県営施設を含めた計画の策定が必要であることから、効果的利用促進について県と協議してまいります。また、点在するスポーツ施設の有効活用方法等や利用者ニーズに則した整備計画の検討を行ってまいります。

主な施策

- ◆スポーツ施設等の適正な維持管理
- ◆スポーツ施設等年間利用調整会議
- ◆学校施設開放事業の推進
- ◆（仮称）町内スポーツ施設等の効果的利用検討会の開催



十符の里パーク(テニスコート)

Ⅱ-2 スポーツ団体等の活動支援

Ⅱ-2-1 地域スポーツ活動団体の育成・支援

町内スポーツ団体の活動を活性化するため、体育協会やスポーツ少年団等が行う各種競技大会等の開催を支援してまいります。また、各種スポーツ大会等において優秀な成績を収めた団体や個人への支援並びに表彰等を行うなど、スポーツ活動の育成・支援に取り組んでまいります。

Ⅱ-2-2 総合型地域スポーツクラブの活動支援

地域住民が主体的に運営されている総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、だれもがスポーツを楽しみ、自分たちの手で地域に根付いたシステムづくりを目指してまいります。

Ⅱ-2-3 スポーツ団体の相互協力体制の強化

少子高齢化や人口減少などによる地域スポーツの課題等を見極め、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等が一体となり、今後の地域スポーツ活動の在り方を検討する体制づくりを進めてまいります。

主な施策

- ◆社会教育事業費補助金の交付
- ◆生涯スポーツ派遣事業に関する補助制度や功績者表彰等の推進
- ◆総合型地域スポーツクラブの活動支援及び拡充の検討
- ◆各種スポーツ活動団体等の協力体制の確立



利府町ふるさとスポーツ祭(家庭バレーボール)

Ⅱ-3 スポーツを担う人材の育成

Ⅱ-3-1 スポーツを推進する人材の育成

町民に対する運動・スポーツの指導・助言や、スポーツ等を行う組織の育成、さらに運動・スポーツに関する様々な事業等への協力を得ながら、生涯スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員などのスポーツを推進する人材の確保・育成に取り組んでまいります。

Ⅱ-3-2 地域でスポーツを支える指導者の育成

運動やスポーツの知識や技術を持っている方々が、地域において活躍できる機会を創出するため、生涯学習人材バンクへの登録を促すなど、地域スポーツを支える指導者の確保・育成を図ってまいります。

Ⅱ-3-3 スポーツボランティアの育成

町内で開催される様々なスポーツイベント等を実施する際に、地域の方々の理解や協力が必要であることから、スポーツボランティアの確保・育成を積極的に推進してまいります。

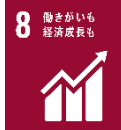
主な施策

- ◆スポーツ推進委員や社会体育推進員の活動支援【P34 再掲】
- ◆生涯学習人材バンク制度の有効活用
- ◆スポーツボランティアの確保・育成



楽天ボランティア(朝のミーティング)

目標Ⅲ 新たなスポーツ文化の創造によるにぎわいの創出



Ⅲ-1 新たなスポーツ文化の推進

Ⅲ-1-1 特色あるスポーツ事業の展開

モータースポーツやスポーツ流鏑馬など、特色ある事業展開に積極的にチャレンジし続けて、子供から大人まで、スポーツを通じてだれもがワクワクし、生き生きと学べる環境整備を図りながら、特色ある新たなスポーツ文化の定着を図ってまいります。

Ⅲ-1-2 女性アスリートを育む環境整備

東京2020オリンピック前に開催した女性アスリートセミナーでは、女性が競技活動を続けていく中で、それぞれが抱える様々な課題や改善すべき点について学びましたが、その課題解決に向けた取り組みについて再度検証しながら、「女性アスリートを応援するまち」を提唱し、育成・支援していくための環境整備を推進してまいります。

Ⅲ-1-3 豊富なスポーツ施設の拠点づくりの検討

本町には多くのスポーツ施設や運動ができる公園等が数多くありますが、それぞれの施設を有効かつ効果的に使用するため、スポーツ施設の拠点づくりについて検討してまいります。

主な施策

- ◆モータースポーツ、スポーツ流鏑馬の積極的な開催
- ◆女性アスリートに関するセミナーやシンポジウムの開催
- ◆スポーツ施設の拠点づくりの調査・研究



TGR ラリーチャレンジ in 利府

Ⅲ-2 本町ならではのスポーツ育成

Ⅲ-2-1 オリンピック開催地としてのレガシー創出

世界最大のスポーツの祭典であるオリンピック開催地としての誇りを持ち、次世代にその素晴らしさを継承していくため、2020東京オリンピックに関するレガシーを創出してまいります。

Ⅲ-2-2 本町ゆかりのアスリート等との連携事業の推進

本町にゆかりのあるアスリートや地元プロスポーツチーム等と連携し、子どもや地域住民にスポーツの素晴らしさや高度なプレーを体感できるイベント等の事業推進に取り組んでまいります。

Ⅲ-2-3 アーバンスポーツやeスポーツの検討

2020東京オリンピックの新競技に選ばれるなど、若い世代を中心として人気が高まっているアーバンスポーツ及びeスポーツは、従来のスポーツの枠にとらわれない遊びの要素を含んだ新たな分野のスポーツであり、アーバンスポーツやeスポーツの実施について検討してまいります。

主な施策

- ◆2020東京オリンピックのレガシーイベントの開催
- ◆本町ゆかりのアスリートや団体との連携【P33再掲】
- ◆プロスポーツ選手との交流事業の検討
- ◆アーバンスポーツやeスポーツ実施の検討



2020 東京オリンピック(聖火リレー)

Ⅲ-3 スポーツの町の推進

Ⅲ-3-1 総合型地域スポーツクラブの拡充

町民が主役となり、自主的に運営を行う総合型地域スポーツクラブを育成・支援し、「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの拡充を図ってまいります。

Ⅲ-3-2 ニュースポーツの普及促進

年齢や体力にかかわらず、だれもが楽しめるニュースポーツ事業を開催してまいります。また、ニュースポーツの用具の貸し出しや地域に出向いて体験会を行い、ニュースポーツの普及促進に努めてまいります。

Ⅲ-3-3 様々なスポーツへの対応策の検討

AIやIoT等のテクノロジーの発達によって、私たちの生活は格段に利便性の向上が図られています。スポーツ分野においてもデジタル技術の導入により、様々な活用方法が考えられることから、運動やスポーツへの対応について検討してまいります。

主な施策

- ◆総合型地域スポーツクラブの活動支援及び拡充の検討【P37 再掲】
- ◆ニュースポーツの普及促進
- ◆デジタル技術の活用による運動やスポーツへの対応の検討



ニュースポーツフェスティバル(モルック)

目標Ⅳ スポーツによる地域活性化・まちづくり



Ⅳ-1 スポーツによる地域コミュニティの活性化

Ⅳ-1-1 地域主体のスポーツ活動の支援

身近な場所で気軽に参加できる地域主体のスポーツ活動等を支援し、運動やスポーツを習慣的に行う方が増え、地域住民の健康増進や地域コミュニティの形成が図られるよう努めてまいります。

Ⅳ-1-2 スポーツイベント等によるスポーツツーリズムの創出

本町独自の魅力的なスポーツイベントやプロスポーツチームとの連携事業によって誘客が促進され、さらに本町の自然環境や観光資源を融合し新たなスポーツツーリズムが育まれるよう取り組んでまいります。

主な施策

- ◆地域スポーツ活動の支援による健康増進
- ◆魅力あるスポーツイベント等の開催
- ◆本町ゆかりのアスリートや団体との連携【P33、P40 再掲】



プロ野球ファーム公式戦

IV-2 スポーツに関する情報の充実

IV-2-1 スポーツに関するイベント等の情報発信

町民が運動・スポーツに関するイベントや教室等の情報を把握できるよう、広報りふや町ホームページ、生涯学習ガイド等を活用し情報の発信を積極的に行ってまいります。また、運動やスポーツを支える側の情報等についても、地域住民の協力を得られるよう、普及・啓発に取り組んでまいります。

IV-2-2 スポーツ施設に関する情報発信

町内にある運動やスポーツ施設の利用に関する情報を把握し、利用促進につなげることができるよう、生涯学習ガイドや利府ワンダーナビ等を活用し、運動・スポーツ施設の情報発信を行います。

IV-2-3 スポーツ団体の活動等に関する情報発信

町内における運動やスポーツ活動の輪を広げ、運動やスポーツに親しむ環境づくりを進めていくため、町内で活動する運動・スポーツに関する団体等の把握に努め、生涯学習ガイド等を活用し、スポーツ団体活動の情報発信を行います。

主な施策

- ◆広報りふやホームページ等への積極的な情報の掲載
- ◆運動・スポーツ施設や利用に関する情報発信
- ◆各種スポーツ団体の活動に関する情報発信



広報りふ

IV-3 町の魅力向上とシビックプライドの醸成

IV-3-1 魅力を感じるスポーツの展開

町民が特色あるスポーツイベント等に参加し楽しむことで、町への誇りを持ち続け、スポーツを核としたにぎわいの創出や魅力あるまちづくりにつなげてまいります。

IV-3-2 町民のシビックプライドの醸成

自分自身が地域の構成員であることを自覚し、さらに町を良い場所にしていこうとする意識やシビックプライドが図られるよう、地域に根差したスポーツイベント等の創出に努めてまいります。

主な施策

- ◆魅力あるスポーツイベント等の開催【P42 再掲】
- ◆地域に根差したスポーツイベント等の創出
- ◆町の魅力向上とシビックプライドの醸成



資料編

1 数値目標

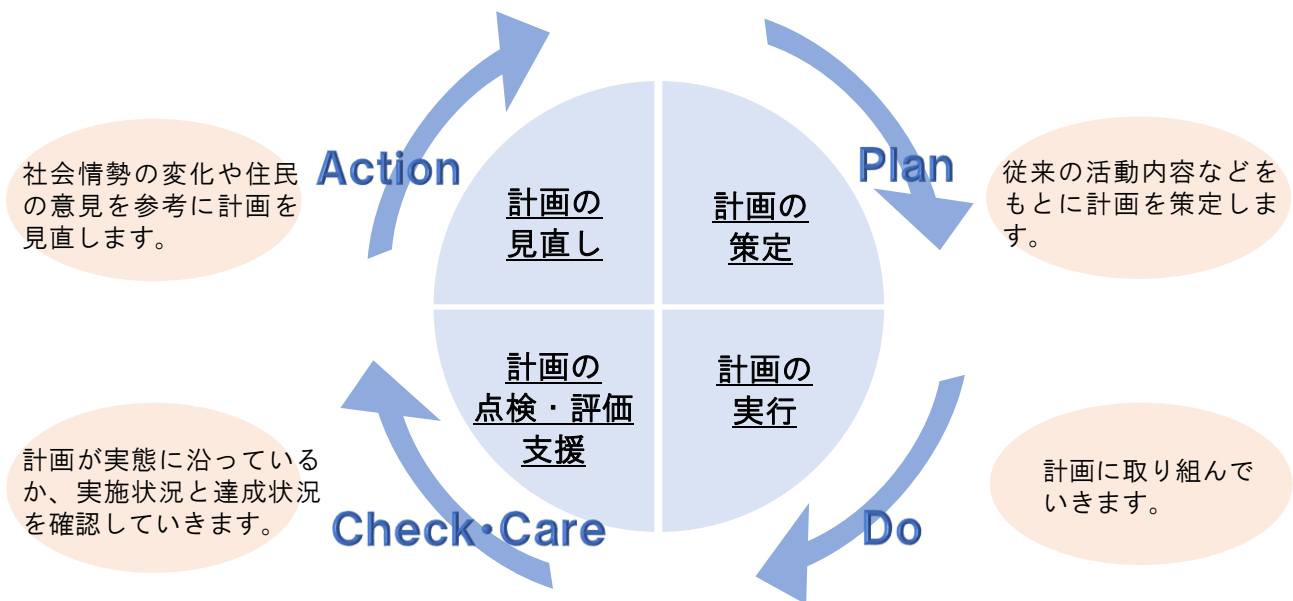
本計画をより実行性のある計画とするため、最終年度である令和15(2033)年度に向けて、以下の数値目標を設定します。なお、指標や目標値は、状況に応じて随時見直しを行ってまいります。

主な指標			
指標	現状値	目標値	出典
週1回以上スポーツをする20歳以上の町民の割合	47.0%	60.0%	町民アンケート調査
小学5年生・中学2年生の体力向上	●小学5年生 男子 全国平均以下 女子 全国平均以下 ●中学2年生 男子 全国平均以下 女子 全国平均以上	●小学5年生 男子 全国平均以上 女子 全国平均以上 ●中学2年生 男子 全国平均以上 女子 全国平均以上	全国体力・運動能力、 運動習慣調査
健康であると感じている18歳以上の町民の割合	85.6%	90.0%	町民アンケート調査
運動やスポーツが好きな18歳以上の町民の割合	46.4%	60.0%	町民アンケート調査
町や地域が主催するスポーツイベント等に参加する町民の割合	—	50.0%	宮城県の数値目標を参照
障がい者スポーツに携わる(支援する)18歳以上の町民の割合	3.6%	10.0%	町民アンケート調査
スポーツに関するボランティア活動を行う18歳以上の町民の割合	18.6%	25.0%	町民アンケート調査
スポーツを親しむ環境が整っていると思う町民の割合	74.9%	80.0%	町民アンケート調査
スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで、町への誇りやシビックプライドを感じる町民の割合	—	50.0%	町民アンケート調査

2 計画の進捗管理

計画を具体的かつ効率的に推進していくために、年度ごとにPDCAサイクルを通じた計画の進捗管理を行います。

計画の中間年度である令和10(2028)年度及び、最終年度である令和15(2033)年度には、施策の取り組み状況や数値目標の達成状況を確認し、目標達成のための課題の把握や事業の見直しを行い、次期の計画策定に活かしていきます。



3 策定体制

1 利府町スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条の規定に基づき、利府町スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 審議会は、10人以内の委員で組織する。

2 委員は、学識経験のある者その他教育委員会が適当と認める者のうちから、教育委員会が任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

○スポーツ基本法(抜粋)

(都道府県及び市町村のスポーツ推進審議会等)

第31条 都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関(以下「スポーツ推進審議会等」という。)を置くことができる。

2 利府町スポーツ推進審議会委員名簿

任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日

No.	氏名	所属	備考
1	黒須 憲	東北学院大学教養学部教授(人間科学科)	会長
2	弓田 恵里香	仙台大学体育学部准教授 (体育学科 スポーツマネジメント・コース)	副会長
3	樋野 伸治	宮城県スポーツ協会スポーツ推進部 生涯スポーツ推進課課長	
4	大泉 一雄	利府町体育協会会長	
5	高橋 安治	利府町スポーツ少年団本部長	
6	石川 一美	利府町スポーツ推進委員協議会会長	
7	山崎 紀恵	利府町子ども会育成会連合会会長	
8	赤間 信博	株式会社まちづくり利府代表取締役社長 (楽天ボランティア関係)	
9	小山田 忠幸	障がい者スポーツ団体 リフピック会長	
10	蛸名 博人	利府町小中学校校長会会長(利府小学校校長)	

3 策定経過

本計画の策定経過は以下の通りです。

日程	内容
令和5年4月27日	●第1回審議会 ・委員の委嘱 ・計画の概要、策定スケジュールの説明・審議・承認 ・調査概要、調査項目の説明・審議・承認
令和5年6月14日 ～6月30日	●町民へのアンケート調査
令和5年7月5日 ～7月21日	●関係団体へのアンケート調査
令和5年9月29日	●第2回審議会 ・アンケート調査結果の説明 ・骨子案の説明・審議・承認
令和5年12月15日	●第3回審議会 ・素案の説明・審議・承認
令和6年1月9日 ～2月7日	●パブリックコメント ・素案に対し町民から意見を募るパブリックコメントを実施
令和6年2月21日	●第4回審議会 ・パブリックコメント結果の説明 ・原案・概要版の説明・審議・承認



利府町スポーツ推進計画【2024-2033】

宮城県利府町教育委員会

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地

電話:022-767-2125 FAX:022-767-2108